

平成24年度 教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検及び評価報告書

平成25年9月

加賀市教育委員会

はじめに

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づいて、平成24年度における、加賀市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行ったものであります。

平成24年度においては、本市の教育が目指す基本的な理念と目標を明確にして、その実現に必要な施策を計画的・総合的に実施していくことを狙いとし、本市を取り巻く教育環境を踏まえ、今後10年間の本市の教育施策の指針となる「加賀市教育振興基本計画」を策定いたしました。

本計画の基本理念である「地域に学び未来への創造力を育むひとづくり」を目指し、学校教育から始まり生涯を通して「学びを持続する社会」の実現に向けて、本計画の着実な推進に全力を挙げて取り組むこととしております。

本計画の初年度となる平成24年度にあたっては、次代を担う人材育成に向けた心の教育や学校教育の充実を図り、家庭・学校・地域社会が一体となった子どもたちの健全育成に努めるほか、一人ひとりの個性や適性に応じたきめ細やかな教育を推し進め、基礎的・基本的な知識はもとより、自ら学び、自ら解決できる能力の育成を目指して、教育庶務課、学校指導課、生涯学習課、スポーツ課、文化課の五課体制のもと、各種事業に積極的に取り組んだところであります。

なお、本報告書の作成にあたっては、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条第2項の規定に基づき、金沢大学 人間社会学域 学校教育学類 田邊俊治 教授からご意見をいただいております。

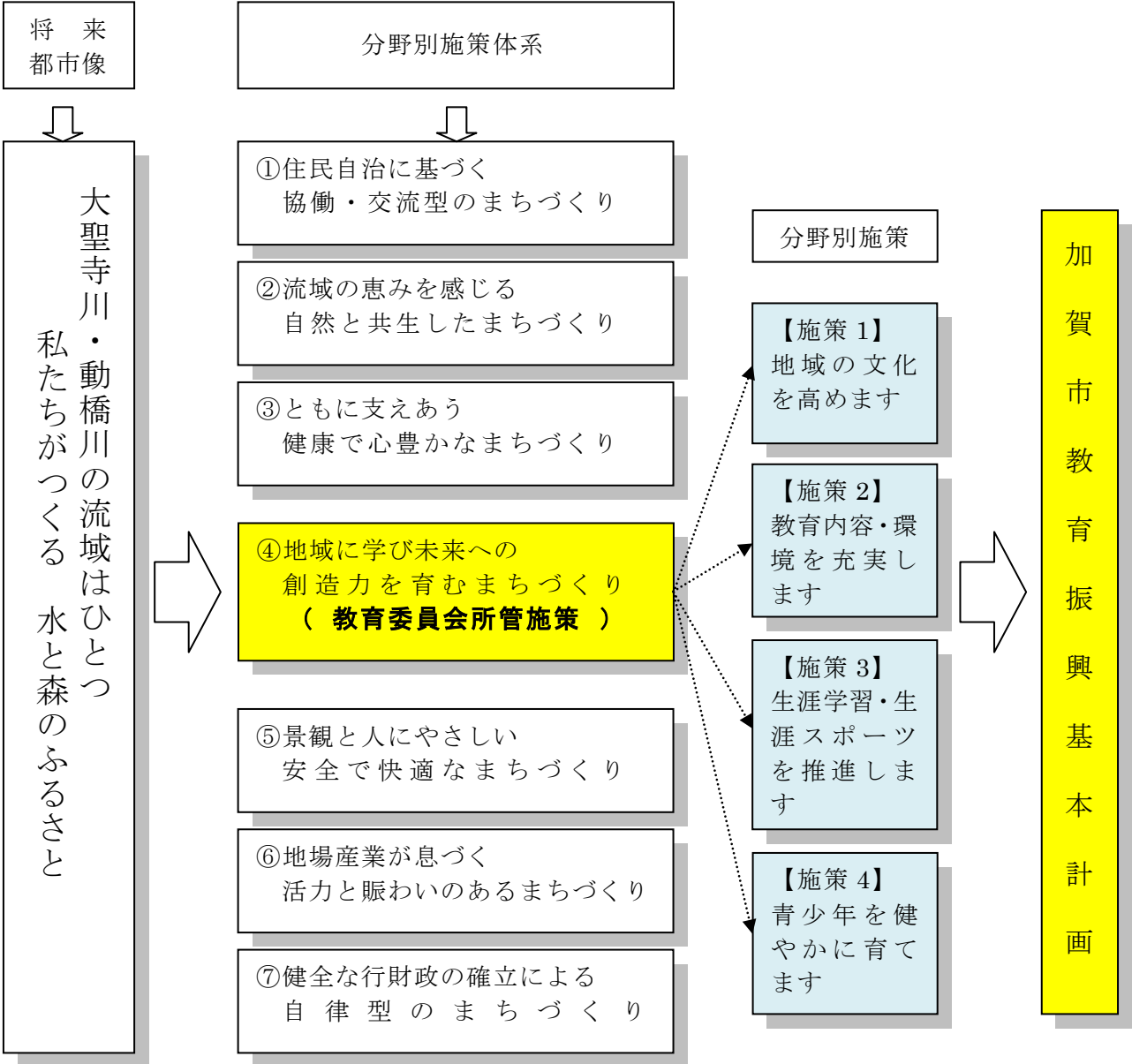
平成25年9月

加賀市教育委員会

目 次

第1次加賀市総合計画における教育委員会が取り組むべき施策	2
加賀市教育振興基本計画の概要	3
施策1 地域の文化を高める事業の推進	4
① 九谷焼や山中節など伝統文化の継承	5
② 歴史的資源の整備	6
③ 伝統文化教育の推進	9
④ 市民文化活動の促進と支援	9
⑤ 芸術鑑賞・文化交流事業の充実	10
⑥ 各種文化施設の運営充実	13
施策2 教育内容・教育環境の充実	14
① 体験型の特色ある教育の推進	15
② 教育環境の充実	15
③ 教育内容の充実	20
④ 教職員の資質・指導力の向上	22
⑤ 地域と学校との連携の促進	22
⑥ 学校における食育の推進	23
⑦ 教育施策の指針となる計画の策定	24
施策3 生涯学習・生涯スポーツの推進	25
① まちづくり交流大会やスポーツイベントの開催	26
② 図書館機能の充実	28
③ 各種教室・講座の開催	30
④ 生涯学習・生涯スポーツ施設の充実	32
⑤ スポーツ団体の育成支援	40
⑥ 総合型地域スポーツクラブへの支援	40
⑦ スポーツプログラマーなどによる体力づくりの支援	41
⑧ 各種活動情報の提供	42
施策4 青少年を健やかに育てる事業の推進	43
① 心の教育の推進	44
② あいさつ運動の全市的な推進	44
③ 青少年育成センターの充実	45
④ 子ども会など青少年団体活動の促進と支援	45
⑤ 社会環境浄化運動の推進	46
教育委員会の会議・研修会と主な活動	47
① 教育委員会会議の開催状況	47
② 教育委員研修会等の開催状況	50
③ 教育委員会の主な活動	51

第1次加賀市総合計画における教育委員会が取り組むべき施策



本報告書は、上記の「地域に学び未来への創造力を育むまちづくり」における4つの分野別施策の達成に向けて、平成24年9月に策定した「加賀市教育振興基本計画」に掲げる事業について、平成24年度の点検評価を行なったものです。

加賀市教育振興基本計画の概要

基本理念

地域に学び未来への創造力を育む人づくり

基本理念を実現するために、7項目の基本目標を定めました。

それぞれの基本目標には基本的な施策を策定し、基本的な施策を展開するために想定される事業を設けています。

1. 新しい時代を生き抜く力をはぐくむ学校教育の実現

- (1) 確かな学力を身に付け、課題に対して主体的に判断・行動し、解決する力を育成する
- (2) 豊かな心を育み、健やかな身体と体力の増進に努める
- (3) 学校組織マネジメントの推進と教職員の資質向上に努める
- (4) ふるさと加賀市の伝統・文化に親しみ、郷土を愛する心を育てる

2. 学びを支える安全・安心で魅力ある学校環境の実現

- (1) 安全・安心な学校施設整備
- (2) 社会的変化に対応した教育環境の整備
- (3) 安心して学べる奨学金制度の充実
- (4) 安全でおいしい給食の提供
- (5) 学校保健の充実

3. 学校・家庭・地域が連携・協力し、社会全体で取り組む教育力の向上

- (1) 学校から家庭、地域への働きかけ
- (2) 地域で子どもを見守る活動
- (3) 学校と地域で子どもを育て、地域での結びつきを育成する活動

4. 共に学び触れ合う生涯学習の充実

- (1) 生涯学習事業の推進
- (2) 公民館活動の推進
- (3) 加賀市の自然や文化を活用した自然体験学習の充実
- (4) 各種生涯学習団体の育成と連携強化
- (5) 図書館機能の充実及び適正管理
- (6) 生涯学習施設の適正管理と有効活用
- (7) 心の教育の推進

5. 健康で活力あふれた人づくりをめざす生涯スポーツの推進

- (1) スポーツイベントの推進
- (2) スポーツ団体の育成支援及び競技スポーツの振興
- (3) スポーツ施設の活用と整備

6. 地域の文化を高める文化振興事業

- (1) 市民の芸術・文化活動の促進と支援
- (2) 文化体験プログラムの充実
- (3) 加賀市ゆかりの人物紹介と関連するイベント等全国発信事業の推進
- (4) 歴史文化基本構想と民俗調査等成果の活用
- (5) 各種展覧施設の充実と情報発信

7. 未来に伝える文化財の保護と活用

- (1) 九谷磁器窯跡や大聖寺十万石城下町などの史跡再生と保護活用の推進
- (2) 橋立・東谷地区伝統的建造物群保存地区保存整備事業
- (3) 文化財の適正な管理と有効活用

「加賀市教育振興基本計画」では、基本目標ごとに定めた基本的な施策について、その概要を説明し、それぞれの施策を展開していくために必要となる事業を示しています。

施策 1 地域の文化を高める事業の推進

本市が有する九谷焼、山中漆器をはじめとする伝統工芸や文化財、また地域に根付く伝統行事など多くの文化的、歴史的な資源を保存、継承することで、市民が本市の文化価値を再認識し、愛着や誇りを持つことができる事業を推進しました。

地域の文化を高める施策の方向について

項目	内容	主な事業名	担当課
1. 九谷焼や山中節など 伝統文化の継承	伝統文化に対する意識の醸成を図るため、市民の伝統文化への自発的な関わりを支援します。	文化体験プログラムの充実／松尾芭蕉・中谷宇吉郎・深田久弥などの全国発信事業	文化課
2. 歴史的資源の整備	市民の文化意識の高揚と観光への活用のため、市内にある歴史的資源を整備します。	加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存整備事業／加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存整備事業／景観保存活動の支援／九谷磁器窯跡整備事業／加賀大聖寺藩十万石文化再生事業／文化財保護施設の適正管理	文化課
3. 伝統文化教育の推進	子どもたちに伝統工芸や伝統芸能の良さを気付かせ、郷土への誇りを育てるための学習機会を提供します。	能楽・茶道活動の推進	学校指導課
4. 市民文化活動の促進と支援	市民の文化活動の場を確保するなど、活動の支援を行います。	市民文化活動の促進と支援	文化課
5. 芸術鑑賞・文化交流事業の充実	地域の文化を高めるため、市民の芸術鑑賞や体験の機会をつくります。	市内各展観施設の適正管理	文化課
6. 各種文化施設の運営充実	広報紙やホームページを利用して情報を発信します。	情報提供の充実と住民団体との連携	文化課

地域の文化を高める事業の点検・評価

1 九谷焼や山中節など伝統文化の継承

事業名	文化体験プログラムの充実			担当課	文化課	
目的	世界に誇る伝統芸術九谷焼の製作工程を体験し、その技術の高さを知る。 写生大会では子どものうちから九谷焼に親しみ、工芸作家を目指す人材を育成する。					
事業の概要	こどもから大人まで気軽に本格的な文化体験プログラムとして、九谷焼窯跡展示館での「こども九谷焼写生大会」、「絵付け体験」、「蹴ロクロ体験」を実施し、九谷焼を親しんでもらうと同時に工芸に携わる人材を育成する。					
事業費(単位:千円)	H22	14,000	H23	13,400	H24	13,400
参加人数		1,202人		942人		940人
評価(成果)	こどもの写生大会や昔ながらの足蹴りロクロでの器の作成、伝統的な九谷焼絵具での絵付けの体験は、手作りのすばらしさや、難しさを体験することで、九谷焼の素晴らしさを認識することができた。 今後も継続し、伝統産業である九谷焼のさらなる理解を深めていく。 参加者数はほぼ横ばいの状態ではあるが、魅力のある企画展を開催し、伝統産業である九谷焼の魅力を全国に広く発信した。					

事業名	松尾芭蕉・中谷宇吉郎・深田久弥などの全国発信事業			担当課	文化課	
目的	芭蕉祭山中温泉全国俳句大会の実施により、芭蕉ゆかりの山中温泉と加賀市を、雪のデザイン賞の開催を契機にして、中谷宇吉郎や加賀市を、深田久弥山の文化館では、自主事業等に深田久弥と加賀市のそれぞれの魅力を全国に発信する。					
事業の概要	芭蕉祭山中温泉全国俳句大会は、芭蕉が山中温泉に滞在した9月に開催し、中谷宇吉郎雪の科学館の雪のデザイン賞については、2カ年事業の最終年度事業として審査、表彰、展示を実施。深田久弥山の文化館は「日本百名山写真コンテスト」を実施している。					
事業費(単位:千円)	H22	1,363	H23	36,027	H24	25,526
応募数	雪デザイン	920件		—		424件
	芭蕉俳句	3,169件		3,937件		3,552件
評価(成果)	芭蕉祭全国俳句大会は加賀市(山中温泉)とのかかわりを通して、観光地としての魅力を全国発信している。また、雪のデザイン賞は、韓国のスポンサーが付き、韓国、台湾、オーストラリア、イギリス他からの応募があり、世界規模の事業となっている。俳句大会は実行委員会の委員が個人的に知人関係者に応募依頼したことや、デザイン賞はスポンサーの拡大等、応募者数の増加を図ったが、どちらも参加者が減少傾向にある。郷土ゆかりの人物をキーとした文化の全国発信は、観光地としての魅力を発信する手段として継続が必要である。					

2 歴史的資源の整備

事業名	加賀橋立伝統的建造物群保存地区 保存整備事業			担当課	文化課
目的	橋立地区に残る伝統的建造物群を保存し、地域の財産として後世に伝えることにより、加賀市の文化的基盤の整備を図る。				
事業の概要	<p>伝統的建造物群を保存し、地域の財産として後世に伝えることにより、加賀市の文化的基盤の向上を図る。</p> <p>伝統的町並みを地域の文化遺産として保存を行う国庫補助事業の重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業、保存地区の防災計画を策定するための防災計画策定調査を国庫補助事業で行う。</p>				
事業費(単位:千円)		17,092		22,716	20,010
伝統的建造物の 修理件数	H22	2件	H23	3件	H24 2件
評価(成果)	保存修理事業は、主屋1件、土蔵1件の修理を実施。防災計画策定調査は、早稲田大学の研究室に委託した。保存地区の適正な建物の維持管理を促進するとともに、防災に有効な防災移設整備の方針を示すことができる。				

事業名	加賀東谷伝統的建造物群保存地区 保存整備事業			担当課	文化課
目的	東谷地区に残る伝統的建造物群を保存し、地域の財産として後世に伝えることにより、加賀市の文化基盤の整備を図る。				
事業の概要	<p>東谷地区に残る伝統的建造物群を保存し、地域の財産として後世に伝えることにより、加賀市の文化基盤の向上を図る。</p> <p>伝統的町並みを地域の歴史的資源として保存を行う、国庫助事補助事業の重要な建造物群保存地区保存地区保存修理事業、保存地区の案内説明板設置のための防災施設等事業を国庫補助事業で行う。また、芸術文化振興基金助成事業として、保存啓発活動を行う。</p>				
事業費(単位:千円)		359		905	44,918
伝統的建造物の 修理件数	H22	—	H23	6件	H24 6件
評価(成果)	<p>保存修理事業は、納屋2件、主屋3件、小屋1件の修理を実施。防災施設等事業は、観光案内板制作及び案内板3基、説明板16基、誘導板7の設置を実施した。また、保存啓発活動はワークショップの開催、民具調査、ちよい住み体験ステイパンフレット等の作成を実施した。</p> <p>伝統的町並みを保存することで、地域に残る空き家をはじめ、さまざまな資源を活用した活性化につなげることができる。</p>				

事業名	景観保存活動の支援			担当課	文化課	
目的	伝統的建造物所有者が行う宿泊施設やギャラリー等の交流施設などに活用する事業の内部改修工事に補助金を交付することで、伝統的建造物の保存を促進する。					
事業の概要	歴史的建造物等を残すために積極的な橋立地区、東谷地区における「まちなか賑わい創出」のためのギャラリー、工房、店舗への内部改修に対し助成を行う。					
事業費(単位:千円)	H22	5,526	H23	6,037	H24	2,518
年間改修件数		4件		3件		1件
評価(成果)	説明会等の開催により、まちづくりファンド事業の目的が地区に浸透し、所有者からの申し込み、問い合わせが多い。計画的に事業を進めるため、所有者の計画を早期に把握し、予算を執行する必要がある。					

事業名	九谷磁器窯跡整備事業			担当課	文化課	
目的	九谷焼発祥の地である重要な窯跡を整備することで、文化財保護と観光資源としての活用を図る。					
事業の概要	国指定史跡九谷磁器窯跡一帯の史跡整備公園整備を図る。史跡指定地の公有化(平成18年度以前)、および基本構想の策定(平成17年度)、基本計画の策定(平成19年度)まで完了している。平成24年度は、平成19年度から引き続き、発掘調査事業を実施するとともに、整備工事に着手する。					
事業費(単位:千円)	H22	6,918	H23	5,496	H24	16,005
評価(成果)	<p>継続事業として、整備に必要な資料収集のための事前調査として、発掘調査事業を実施するとともに、調査報告書の刊行により、調査成果を公開することができた。また、適宜現地説明会も開催し、整備の周知も視野に入れて事業を進めている。</p> <p>新規事業としては、工房集落地区の地形測量業務、実施設計業務等史跡の保存活用のための整備工事を開始した。</p> <p>今後も、文化財保護を第一に、文化庁、県教委の指導及び整備委員会、専門委員会での審議を経て、発掘調査・整備工事を継続する予定である。さらに、歴史学習の場の提供、郷土愛の育成、文化財保護意識の高揚、観光資源としての活用等へつながるよう、積極的な情報提供も進めていく。</p>					

事業名	加賀大聖寺藩十万石文化再生事業			担当課	文化課
目的	大聖寺藩十万石の歴史を後世に伝えるとともに、大聖寺地区を加賀市のシンボル地区として、加賀市の魅力アップと地域の活性化につなげる。				
事業の概要	大聖寺十万石城下町の核となっていた藩邸屋敷跡周辺の史跡を、文化財的価値に高めながら復元整備を図る。大聖寺十万石史跡再生協議会を中心に整備計画を作成する。				
事業費(単位:千円)		872		6,696	14,720
専門家のアドバイスを 受けけた回数	H22	10回	H23	3回	H24 —
評価(成果)	<p>旧新家家主屋の活用整備に関する基礎調査事業として、金沢工業大学の山崎准教授に委託する。</p> <p>今後は、調査報告書を基に旧新家家の保存活用計画や整備計画を進めていくと同時に、大聖寺城跡や藩邸、庭園の学術調査や復元的整備等、加賀市のシンボル地区として整備していくことで、貴重な歴史的、文化的資産の保存活用が図られ、地域の文化が高まっていく。</p>				

事業名	文化財保護施設の適正管理			担当課	文化課
目的	市民全体の貴重な財産である文化財の保護・保存・継承を行うとともに、郷土の有形文化財・民俗資料等の収集保存に努め、学術及び文化の向上に資することを目指す。				
事業の概要	<p>後世に伝えるべき貴重な財産である文化財の保護・保存・継承を行うとともに、郷土の有形文化財・民俗資料等の収集保存に努め、学術及び文化の向上に資することを目指す。</p> <p>指定文化財等の収蔵・管理を行うほか、小中学校の学習の場として活用する。</p>				
事業費(単位:千円)	H22	2,377	H23	3,413	H24 2,922
評価(成果)	<p>文化財は後世に伝えるべき大切な遺産であり、歴史民俗収蔵庫を除く各収蔵庫はそれぞれの性質にあわせて適正な保護管理を行った。収蔵庫資料の活用として、小中学校を対象に出前も含めて11回の学習を開催し、高校の研究活動にも出向いた。</p> <p>子供たちに、「歴史的資源を具体的な形で見せることにより、「過去に学び、未来を創造する大切さ」を気づかせ、郷土愛を培う教育的効果が期待できる。</p>				

3 伝統文化教育の推進

事業名	能楽・茶道活動の推進			担当課	学校指導課
目的	加賀市内の小学生に対して日本の伝統文化を伝え、特に郷土の文化として根付いている能楽や茶道を学ぶことで、その良さを知るとともに郷土への誇りを育む。				
事業の概要	<p>能楽や茶道の基本的な内容を習得する学習活動を実施する。</p> <p>能楽については、市内の能楽研究会指導者が、市内小学校3校の児童に対して謡いや仕舞の基本を指導する。</p> <p>茶道については、市内小学校17校がクラブ活動の一環として週1回程度の茶道教室を行い、基本的な技術や心構えを学ぶ。</p>				
事業費(単位:千円)		847		650	669
実施校	茶道	H22 17校	H23	17校	H24 17校
	能楽	3校		3校	
評価(成果)	<p>大聖寺藩十万石の文化が息づく加賀市は、加賀百万石の金沢にも劣ることのない歴史と文化を有しており、現在も、能楽や茶道が盛んに行われている。</p> <p>この文化を児童達に伝えることで教養を高め、質の高い教育へとつなげることができている。</p> <p>学校における伝統文化活動の推進は、将来に向けての「住んでよし・訪れてよし」のまちづくりの基礎を学校教育の場から促進する手法としても効果的であり、今後も継続していく必要がある。</p>				

4 市民文化活動の促進と支援

事業名	市民文化活動の促進と支援			担当課	文化課
目的	学芸(解説)ボランティア員の養成と活用				
事業の概要	ボランティア員を各文化施設に養成し、展覧内容の解説を行う。意欲のある市民団体や個人の文化活動を促進・支援することにより、生涯学習推進と生きがいの創出及び、社会貢献につながる。				
事業費(単位:千円)		—		—	—
ボランティア実施施設	H22	3施設	H23	5施設	H24 5施設
ボランティア解説回数		456回		865回	
評価(成果)	市民の主体的な活動に結びつく事業であり、ボランティア員の生涯学習と社会貢献となっている。また、利用者の利便性が向上するとともに、住民参加型の展覧施設としての価値は高く、住民が協働参画で行う事業は、行政のみではなし得ない効果を発揮している。				

5 芸術鑑賞・文化交流事業の充実

事業名	九谷焼美術館の適正管理		担当課	文化課(九谷焼美術館)		
目的	九谷焼を鑑賞する人々の満足度をさらに高めるとともに、伝統産業である九谷焼の振興と観光客の増大を図る。					
事業の概要	九谷焼に関する資料を収集・保存及び展示し、その知識の普及及び芸術活動の振興発展に寄与する。					
事業費(単位:千円)		34,168		34,023	35,140	
入館者数	H22	29,386人	H23	28,966人	H24	29,442人
喫茶売店利用数		15,561人		14,589人		14,157人
評価(成果)	<p>本市が「九谷焼発祥の街」とであるという市としてのアイデンティティーを発信する有効な社会教育機関として、石川県九谷焼美術館は全国にその名を定着させつつある。</p> <p>学校教育との連携もすすみ、ふるさと学習や子ども向け事業により、児童生徒の入館や参画が増え、観光客減少による入館者の目減り分の下支えをしており、H24年度は年間入館者29,000人台に回復している。</p> <p>しかし、クールかが300万人構想の実現に向け観光客の増大を図るためには、駐車場問題がある。九谷焼美術館専用の自家用車駐車場がないこと(隣接の図書館駐車場に現実は停める入館者も少なくないが、週末は図書館利用者も増大し、いつも満車状態となり、通路駐車で混雑を極めている。)、大型観光バスの停留所はあっても駐車場はないのが現状である。これから増えるであろう高齢の観光客をお迎えする観光施設としては大きな課題といえる。</p> <p>喫茶売店利用者数の減少傾向もやはり観光客減少に起因していることは想像に難くない。</p>					

事業名	北前船の里資料館の適正管理		担当課	文化課		
目的	北前船に関する知識の一般への普及、また、当該分野の専門研究への支援を恒常的に行う。					
事業の概要	北前船の里の第2土蔵などの展示スペースを利用して、北前船に関連するテーマで展示を行う。また、美術品や着物を中心とした季節感のあるテーマ展も行う。平成24年度は初めての試みとして、夏休みに子ども向けの工作教室(引札を材料にしたうちわ作りなど)を開催し、資料館や北前船を知るきっかけとしてもらう。					
事業費(単位:千円)		11,003		9,808	10,828	
入館者数	H22	16,738人	H23	17,291人	H24	14,941人
評価(成果)	<p>北前船や酒谷家に関する企画展を6回開催し、10,897名の入場者があった。また、自主事業は子どもを対象に、うちわ作りやクイズラリーを開催し、115名の参加があった。入館者数は大きく減少したが、魅力ある企画展を開催し利用促進を図っていく。</p> <p>専門的な調査研究や、継続的な資料・情報の収集、保存、整理が必要であることから、今後も市直営を維持し、指定文化財である建物を含む各種館蔵資料の保存に努める。</p>					

事業名	中谷宇吉郎雪の科学館の適正管理		担当課	文化課		
目的	中谷宇吉郎の魅力、雪氷の魅力を紹介することにより、生きるヒントや役立つことを提供するとともに、加賀市の文化発展と観光振興を図る。					
事業の概要	中谷宇吉郎の没後 50 年の節目に、指定事業では記念シンポジウムや記念講話、記念上映会、企画展として記念パネル展や記念企画展を開催する。					
事業費(単位:千円)	H22	20,331	H22	22,053	H24	20,099
入館者数		25,198 人		23,072 人		24,616 人
評価(成果)	<p>没後 50 周年記念事業は 27,972 名の入場者があった。入館者は、ほぼ横ばいの状態ではあるが、平成 22 年度から指定管理者制度を導入し、展示や実験の充実や多彩な企画展、自主事業の開催により科学館の活性化を図っている。</p> <p>指定管理者と密に連絡を取り合い、適切な指導をすることによって、施設管理、事業運営を行っていく。</p>					

事業名	九谷焼窯跡展示館の適正管理		担当課	文化課		
目的	九谷焼吉田屋窯以降の再興九谷に関する資料を収集し、保存及び展示をし、市民の教養を高めるとともに、学術及び文化の向上に資するという設置目的を達成する。					
事業の概要	九谷窯跡展示館開館 10 周年記念事業として、「永楽和全」展の開催及び企画展を開催する。					
事業費(単位:千円)	H22	14,000	H23	13,400	H24	13,547
入館者数		10,351 人		10,798 人		8,957 人
評価(成果)	<p>指定事業である「永楽和全」展は 3,470 名の入場者があり、企画展は 4 回開催した。入館者数は減少傾向ではあるが、平成 21 年度から指定管理者制度を導入し、九谷焼の認識や魅力ある事業の開催と管理経費の削減を図っている。</p> <p>指定管理者と密に連絡を取り合い、適切な指導をすることによって、施設管理、事業運営をおこなっていく。</p>					

事業名	加賀市美術館の適正管理		担当課	文化課		
目的	「人びとが集いあう美術館」をコンセプトに、ロビー等の有効活用も視野に入れながら、地域に密着した身近で親しみやすい美術館を目指す。					
事業の概要	加賀市美術館開館 50 周年を記念して、山中木地挽物保存会と共催で、「山中木地挽物の世界展」を開催する。山中木地挽物の歴史を物語る優品の数々を展示し、技術の変換をたどるとともに、川北良造氏をはじめとする山中木地挽物技術保存会会員及び研修生の作品を展示し、長い時を経て継承される山中木地挽物の世界を紹介する。					
事業費(単位:千円)	H22	22,693	H23	24,316	H24	24,491
入館者数		32,851 人		26,281 人		34,176 人
評価(成果)	<p>企画展 15 回、常設展2回、自主事業1回、貸館 21 回、合計 39 回の事業を開催した。JR加賀温泉駅前という立地条件の良さから、多目的に利用できる施設の利便性を活かした民間の発想で新たな試みを行っており、利用者からは好評であり、入館者数は、増加している。</p> <p>指定管理者と密に連絡を取り合い、適切な指導をすることによって、施設管理、事業運営を行っていく。</p>					

事業名	魯山人寓居跡いろは草庵の適正管理		担当課	文化課		
目的	山代温泉と北大路魯山人の関係を紹介し、山代温泉の文化性を高め、情報を発信し、誘客につなげる。					
事業の概要	魯山人寓居跡いろは草庵の開館 10 周年を記念して、「料理旅館まつ本 松本氏ギャラリートーク」、魯山人いろは草庵そして山代温泉にちなんだ俳句川柳募集を行う。また、年 3 回の企画展開催を行い「魯山人と山代温泉」の結びつきを紹介する。					
事業費(単位:千円)	H22	14,559	H23	13,858	H24	14,269
入館者数		16,852 人		16,603 人		14,163 人
評価(成果)	<p>ギャラリートークは 21 名の参加、俳句川柳募集の募集は多数あり、うち 91 点をロビーに展示した。入館者数は大きく減少したが、指定管理者によるサービスの向上や山代温泉と魯山人の魅力ある企画展、さらなる運営の効率化を追求していく。</p> <p>指定管理者と密に連絡を取り合い、適切な指導をすることによって、施設管理、事業運営をおこなっていく</p>					

事業名	深田久弥山の文化館の適正管理			担当課	文化課	
目的	<p>深田久弥の山に関する資料を収集、保存、展示するとともに、人々が自然と人間について考えるための交流の場とする。</p> <p>「深田久弥」および「山の文化」の魅力を全国発信する。</p>					
事業の概要	<p>指定管理者の自主事業として、「ふるさとの自然ふれあい作品コンクール」及び、「深田久弥『日本百名山』写真コンテスト」を開催する。写真コンテストは、山の文学者の名前を冠したコンテストであり全国各地から募集する。</p> <p>また、施設の管理運営、常設展の充実、企画展の開催、月いち事業の開催を行う。</p>					
事業費(単位:千円)	H22	7,772	H23	7,800	H24	7,952
入館者数		10,063人		7,933人		7,734人
評価(成果)	<p>ふれあい作品コンクールは222点、百名山写真コンテストは428点の応募作品があり、百名山写真コンテスト入賞作品は加賀市美術館において写真展を開催した。入館者数は、減少傾向ではあるが、指定管理者によるサービスの向上と魅力ある企画展やさらなる運営の効率化を追求している。</p> <p>指定管理者と密に連絡を取り合い、適切な指導をすることによって、施設管理、事業運営をおこなっていく。</p>					

6 各種文化施設の運営充実

事業名	情報提供の充実と住民団体との連携			担当課	文化課	
目的	情報提供の充実と入館者の増加を目指す。					
事業の概要	市広報の施設ガイドページへの掲載により、展観施設、文化施設等の事業、行事を一括して広く告知する。各文化施設のホームページの充実を図る。					
事業費(単位:千円)		—		—		—
全展覧施設入館者	H22	139,347人	H23	132,944人	H24	134,029人
広報掲載ページ数		24P		24P		24P
評価(成果)	<p>全展観施設の入館者数は、ほぼ横ばいの状態ではあるが、指定管理者制度が導入された施設については、各施設のホームページの更新を指定管理団体が実施している。</p> <p>今後は、指定管理者と情報の共有化を図ることで、各文化施設の運営の充実と地域の文化水準のさらなる向上に効果が期待されるので、今後も一層の情報発信を行っていく。</p>					

施策 2 教育内容・教育環境の充実

児童生徒一人ひとりの個性に応じた教育を推進し、基礎学力の定着と活用力の向上や個性の伸長を図るとともに、豊かな人間性を身につけることができるよう教育内容や教育環境等を充実しました。

また、子ども達が安全で快適な学校生活がおくれるよう学校整備などを推進しました。

教育内容・教育環境の充実施策の方向について

項目	内容	主な事業名	担当課
1. 体験型の特色ある教育の推進	「生きる力」を養い、自然への畏敬や環境保護の意識を高めるため、子どもたちが野外での共同生活を体験します。	野外活動などの自然体験活動の推進	学校指導課
2. 教育環境の充実	児童生徒が安心かつ安全に学校生活を送ることができるよう、学校施設を整備するとともに適正な管理運営を行うことで、快適な教育環境を提供します。	学校用(教師用含む)パソコンの整備/奨学金制度の充実/多様な方策による生活支援/いじめ・不登校の解消/小中学校施設の整備/小中学校施設の適正管理/幼児教育の充実/学校保健の充実	学校指導課 教育庶務課 こども課
3. 教育内容の充実	幅広くきめ細やかな教育環境を提供するため、教育内容を充実させます。	国際化社会に対応した教育の実践/特別支援教育の充実/学校図書館の充実	学校指導課
4. 教職員の資質・指導力の向上	より活力ある学校運営のため、教職員の資質・指導力の向上を図ります。	教職員の指導力向上による適正な学校教育の推進	学校指導課
5. 地域と学校との連携の促進	子どもたちの地域への関心を高めながら、地域の人が参画した学習を進めます。	地域人材活用による学校教育の充実	学校指導課
6. 学校における食育の推進	子どもが食に関する知識と食を選択する力を修得し、健全な食生活を実践する能力を養い、心身ともに健康で健全な「身体」づくりを進めます。	学校給食施設の適正管理/食に関する指導実践の充実/農業体験の実施	学校指導課
7. 教育施策の指針となる計画の策定	学校教育、生涯学習、スポーツ、文化それぞれの業務を総合的に推進するための計画を策定します。	教育振興基本計画の策定	教育庶務課

教育内容・教育環境の充実事業の点検・評価

1 体験型の特色ある教育の推進

事業名	野外活動などの自然体験活動の推進				担当課	学校指導課
目的	加賀市内の児童に対し、自然を愛する意識を育成するとともに、集団生活の経験による社会性の育成を目指す。					
事業の概要	市内小学校の高学年の児童が、自然に触れ合いながら野外活動を体験する宿泊を伴う自然体験活動を実施する。 実施にあたっては、担当教諭を対象とした事前研修会及び反省会を実施し、PDCA サイクルによる事業の改善、改革を行う。					
事業費(単位:千円)		161		181		177
実施校数	H22	16校	H23	13校	H24	17校
評価(成果)	平成 24 年度は、前年度から実施校も増加している。 新たな自然体験メニューを取り入れる学校もあり、事業の充実が図られた。 これまでは、小松市など市外施設での活動が中心であったが、少しずつではあるが、大土町等、市内施設の利用が増加している。 今後は新たに、山中温泉杉の水町の施設利用を計画するなど、更に加賀市内の施設利用度を高め、加賀市の自然に触れ合う機会を増やしていく。そのため、加賀市内の自然体験施設を充実する等、受入態勢の整備を進める。					

2 教育環境の充実

事業名	学校用(教師用含む)パソコンの整備				担当課	学校指導課
目的	適正なパソコン環境を提供することにより、現代の情報化社会に対応できる子供達を育成するとともに、学校情報のセキュリティ強化と教職員の円滑な校務の促進を図る。					
事業の概要	国の整備目標に基づき、各小中学校のパソコン教室のパソコンを整備し、充実した情報教育環境を提供する。また、学校教職員の校務用パソコンについて、公的パソコンの配置を促進する。					
事業費(単位:千円)		24,758		29,914		25,789
児童生徒用 PC 設置数	H22	548 台	H23	548 台	H24	548 台
教職員公的 PC 設置数		389 台		389 台		395 台
評価(成果)	平成 21 年度から、加賀市内の小中学校のパソコン教室に新規パソコンをリース契約により導入し、平成 24 年度には中学校 3 校に各 40 台を配置した。さらに平成 25 年度には 3 校に各 40 台を配置する予定である。また、社会に出て役立つスキルを育成するためのソフトを導入するなど、充実した情報教育環境の提供に努めている。しかし、校務用の教職員パソコンについては、老朽化も進み性能は十分とは言えず、更には教職員の私有物を公的使用するなど、健全な環境とは言えない状況である。また、マイクロソフト社の Windows XP のサポートが平成 26 年 4 月に終了し、セキュリティ更新プログラムなどの重要なサービスが提供されなくなるため、今後は、早急に公務用パソコンの整備を進める必要がある。 また、全国的に急速に進むタブレットや電子黒板等を教室で使用する授業を提供できるようなネット環境づくりについても検討していく。					

事業名	奨学金制度の充実		担当課	学校指導課	
目的	経済的な問題を抱えながら進学を希望する者のうち、審査基準を満たす者に対して奨学金給付や資金貸付を行うことで進学を支援し、優秀な人材を養成する。				
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・三森良二郎奨学金 向学心に富み学術優秀ながらも経済的理由で大学に就学困難な者に対し給付し、本市にとって有為な人材を養成する。 ・加賀市奨学金 向学心に富み学術優秀ながらも経済的理由により大学に就学困難な者に対し給付する。 ・育英資金貸付金 向学心に富み学術優秀ながらも経済的理由により高校及び大学に就学困難な者に対し貸付する。 				
事業費(単位:千円)		10,326		10,693	11,011
新規給付者及び貸付者の人数	H22	13人	H23	14人	H24 16人
評価(成果)	<p>本制度は、まだまだ生徒や保護者に浸透しておらず、利用する人数が少ない。優秀な人材をより多く育成するため、本制度の利用促進を図るべきであり、今後は周知のための広報活動を強化していく必要がある。</p> <p>平成24年度で給付や貸付が終了した者にアンケート調査を行った結果、本制度の資金は学費一部に充て、アルバイト等をしながら生計を立てる中、本制度の奨学金や貸付金は大いに役立ったとの回答が多くを占めた。</p> <p>今後は、給付金や貸付金の使途が適正であったか検証しながら利用促進を図っていく。</p>				

事業名	多様な方策による生活支援		担当課	学校指導課	
目的	経済的理由により、就学困難な児童生徒に対して学校での経費の一部を援助することにより、義務教育の円滑な実施を図る。				
事業の概要	保護者からの申請書を審査し、支援が必要と認められたものに対して、学期ごとに学用品、給食費の一部を援助する。				
事業費(単位:千円)		48,728		49,870	47,658
支援を受け学校集金を納めることのできた者の割合	H22	93.7%	H23	93.7%	H24 93.8%
評価(成果)	<p>児童生徒数が年々減少しているにもかかわらず、要支援者数は増加していたが、平成23年度から24年度にかけては減少した。しかしながら、その人数は約700名にも上り、今後も引き続き、支援を行っていく必要がある。</p> <p>支援を受けることで給食費等の学校経費を納入できている者が90%を超えているが、約6%の者は、支援を受けながらも学校経費を未納する状況となっている。この未納者に対してどう理解を求めていくかが課題であり、今後、その対応を検討していく。</p>				

事業名	いじめ・不登校の解消		担当課	学校指導課	
目的	加賀市内の小中学校における「いじめ」や「不登校」を解消し、健全で快適な学校教育環境の提供を推進する。				
事業の概要	<p>「いじめ」への対策として、全ての学校でアンケート調査や個人懇談等を頻繁に実施し、早期発見・早期対応を徹底する。また「不登校」への対策は、家庭訪問を繰り返すなど家庭と連携し担任や友人との関わりを深めながら、別室登校、電話、迎えを行うなどのケアを行うことで改善を図る。</p> <p>市内3校には「心の相談員」を配置し、また平成24年度からは児童生徒に対して心理検査を実施し、その分析結果を実践に反映させることで、問題行動や不登校の未然防止につなげ、学級集団状態の良好化を図りながら、諸問題の改善を目指す。</p>				
事業費(単位:千円)		725		394	891
全児童生徒数に占める「いじめ」「不登校」件数の割合	H22	3.31%	H23	3.41%	H24 2.14%
評価(成果)	<p>学校における「いじめ」や「不登校」は、現代の学校教育の重要な問題であり、加賀市においても深刻な問題である。加賀市の教育現場では対策として、早期発見、早期対応に努め、また、教職員が粘り強く対応することで、「いじめ」、「不登校」とともに減少してきている。しかしながら、まだまだ件数は多く、今後とも解消に向けて積極的に取り組みを進めていかなければならない。</p> <p>平成24年度からは児童生徒に対する心理検査による問題改善を目指す取り組みを開始し、平成25年度には更に拡充することとしている。</p> <p>また、背景には家庭や学校、友人、地域社会など、多種にわたる環境が複雑に絡み合い、学校だけでは解決が困難なケースが生じていることから、平成25年度からスクールソーシャルワーカーを配置し、各種関係機関等と連携と福祉的側面からの働きかけを強化しながら、学校や家庭に対して適切な支援と協力をを行い、問題解決を図っている。</p>				

事業名	小学校施設の整備		担当課	教育庶務課	
目的	小学校の校舎・体育館等の学校施設について、学校教育の場としてふさわしく、安全・安心で魅力ある教育環境を実現するよう必要な整備を行う。				
事業の概要	<p>良好な教育環境を確保するため、必要な整備を計画的に行っていく。</p> <p>安全・安心な教育環境を提供するとともに、地域の防災拠点となりうるため耐震化事業を行うこととし、市内21小学校、78棟の建物のうち、建物本体の耐震化が必要な53棟について、改築及び耐震補強工事を実施する。</p> <p>また、建物本体の耐震化完了後、天井材や照明器具など非構造部材の落下防止対策に取り組み、さらなる施設の耐震化を目指す。</p>				
事業費(単位:千円)		1,515,053		439,002	758,084
耐震化率	H22	93.6%	H23	93.6%	H24 100.0%
評価(成果)	<p>平成24年度は、橋立小学校の校舎、講堂の防音改築事業を行った。工事は順調に進み、当初の工期予定より約1カ月早い9月末に完成し、11月には新校舎での授業を開始することができた。橋立小学校の改築事業の完成により、市内小学校全ての建物本体の耐震化が完了したこととなり、目標の耐震化率100%を達成した。</p> <p>今後は、地震による落下物や転倒物から児童を守り、学校施設のさらなる安全を確保するために、天井材や照明器具等の非構造部材の落下防止対策について取り組む必要がある。特に落下した場合の危険性が高いとされる、災害発生時には避難所としての利用が予想される体育館の対策を実施していく。</p>				

事業名	中学校施設の整備				担当課	教育庶務課
目的	中学校の校舎・体育館等の学校施設について、学校教育の場としてふさわしく、安全・安心で魅力ある教育環境を実現するよう必要な整備を行う。					
事業の概要	<p>良好な教育環境を確保するため、必要な整備を計画的に行っていく。</p> <p>安全・安心な教育環境を提供するとともに、地域の防災拠点となりうるため耐震化事業を行うこととし、市内 6 中学校、24 棟の建物のうち、建物本体の耐震化が必要な 7 棟について、改築及び耐震補強工事を実施する。</p> <p>また、建物本体の耐震化完了後、天井材や照明器具など非構造部材の落下防止対策に取り組み、さらなる施設の耐震化を目指す。</p>					
事業費(単位:千円)	H22	363,577	H23	249,469	H24	488,463
耐震化率		83.3%		83.3%		100.0%
評価(成果)	<p>平成 24 年度は、橋立中学校の校舎防音改築事業を行った。工事は順調に進み、当初の工期予定より約 1 カ月早い 9 月末に完成し、11 月には新校舎での授業を開始することができた。橋立中学校の改築事業の完成により、市内中学校の全ての建物本体が完了したこととなり、目標の耐震化率 100%を達成した。</p> <p>今後は、地震による落下物や転倒物から児童を守り、学校施設のさらなる安全を確保するために、天井材や照明器具等の非構造部材の落下防止対策について取り組む必要がある。特に落下した場合の危険性が高いとされる、災害発生時には避難所としての利用が予想される体育館の対策を実施していく。</p> <p>また、橋立中学校改築事業の中で教室の冷房化を実施したが、教育環境の充実させる取り組みとして、市内 6 中学校の普通教室冷房化事業に順次取り組んでいく。</p>					

事業名	小学校施設の適正管理				担当課	教育庶務課
目的	学校教育の場として適正な施設管理を行い、児童が安全で快適に学び、安心して学校生活を送れる学校づくりを進める。					
事業の概要	<p>小学校 21 校それぞれの学校運営の重点ポイントに合わせた予算編成と適正執行を行うとともに、光熱水費等をはじめとした経費節減に努める。</p> <p>施設や設備の管理については、大規模な修繕等を計画的に行いながら、緊急の修繕にも対応し、教育活動に支障がないよう施設の適正管理に努め、教育環境の質の維持向上を図る。</p>					
事業費(単位:千円)	H22	219,001	H23	203,507	H24	230,715
評価(成果)	<p>各小学校とも限られた配当予算の中、予算執行を工夫しながら施設の適正な管理運営に努めた。光熱水費については、前年度と比較し上下水道料は減額となったが、電気料、燃料が増額となったことから、夏場の節電対策をはじめとした省エネ対策を継続的に行っていく。</p> <p>施設の維持補修については、平成 24 年度は錦城東小学校屋上防水事業の大規模修繕を行うとともに、小学校全体の維持補修費予算を増額し、良好な教育環境の提供のため、各学校で必要な施設改修、設備更新等を行った。施設や設備は年々老朽化しているため、大規模な修繕を計画的に行うとともに、緊急の修繕にも対応していく。</p>					

事業名	中学校施設の適正管理		担当課	教育庶務課		
目的	学校教育の場として適正な施設管理を行い、生徒が安全で快適に学び、安心して学校生活を送れる学校づくりを進める。					
事業の概要	<p>中学校 6 校それぞれの学校運営の重点ポイントに合わせた予算編成と適正執行を行うとともに、光熱水費等をはじめとした経費節減に努める。</p> <p>施設や設備の管理については、大規模な修繕等を計画的に行いながら、緊急の修繕にも対応し、教育活動に支障がないよう施設の適正管理に努め、教育環境の質の維持向上を図る。</p>					
事業費(単位:千円)	H22	126,370	H23	120,401	H24	110,209
評価(成果)	<p>各中学校とも限られた配当予算の中、予算執行を工夫しながら施設の適正な管理運営に努めた。光熱水費をはじめとした経費節減を目指したが、前年度と比較し大きな減額にはならなかった。今後も夏場の節電対策をはじめとした省エネ対策を継続的に行っていく。</p> <p>施設の維持補修については、4月の暴風により東和中学校体育館で窓が割れるなどの被害があり、緊急修繕を行ったほか、良好な教育環境の提供のため、各学校で必要な施設改修、設備更新等を行った。施設や設備は年々老朽化しているため、大規模な修繕を計画的に行うとともに、緊急の修繕にも対応していく。</p>					

事業名	幼児教育の充実		担当課	こども課		
目的	幼稚園の教育環境及び経営基盤を後退させることなく、保護者や地域のニーズに適切に応える。					
事業の概要	市立幼稚園が平成 24 年度より全て休園となり、私立幼稚園 1 園で幼児教育を実施している。幼稚園の教育環境の向上を図るとともに、経営基盤の安定化に資するよう引き続き補助を実施する。					
事業費(単位:千円)	H22	29,335	H23	21,772	H24	5,686
入園児童数		78 人		73 人		65 人
評価(成果)	<p>核家族化や共働き家庭の増加に伴い、乳児保育などの保育ニーズが増加した。そのため、保育園の入園児童数が増加し、幼稚園の入園児童数が激減している。特に市立幼稚園については、平成 24 年度より全ての園が休園となった。</p> <p>私立幼稚園においても昨今の保育ニーズに対応すべく、2 歳児からの入園や延長保育を実施するなど、経営基盤等の安定に努力している。</p> <p>今後、子ども・子育て関連 3 法の成立に伴い「子ども・子育て支援制度」の動向を注視しながら、幼児教育のみならず、保育のあり方も併せて、検討していく必要がある。</p>					

事業名	学校保健の充実			担当課	学校指導課
目的	加賀市内の小中学校における保健管理、安全管理、児童生徒及び教職員の健康の保持増進の体制づくりを推進する。				
事業の概要	<p>学校保健安全法に基づく児童生徒及び教職員の健康診断、環境衛生検査等を実施し、その結果に基づく治療等、必要な措置を取るよう指導を行う。</p> <p>また、学校活動に対する安全保険に加入するとともに、学校保健運営に必要な備品や消耗品等を充実させ、適正な学校保健事務を進める。</p>				
事業費(単位:千円)	H22	26,464	H23	23,465	H24 23,039
健康診断受診割合		97.4%		94.7%	95.1%
評価(成果)	<p>嘱託医師を配置し、児童生徒の健康管理を促進している。 (校医 19 人、歯科医 21 人、眼科医 2 人、耳鼻科医 2 人、薬剤師 19 人)</p> <p>健康診断の受診については、一部教職員が人間ドックなど個人的に健康管理を行うことで健康診断を受診しない傾向もみられるが、引き続き、全校の児童生徒・教職員に受診を促していくこととする。</p> <p>また、学校活動における事故等に対する保険加入や必要な保健備品についても、学校運営に必要不可欠なものである。</p> <p>今後は、児童生徒・教職員のさらなる健康管理、安全管理を積極的に進め、学校保健を充実させていくこととする。</p>				

3 教育内容の充実

事業名	国際化社会に対応した教育の実践			担当課	学校指導課
目的	外国人英語講師の授業により、英語に親しみをもち異文化を理解しながら国際化社会に順応できる児童生徒の育成を目指す。				
事業の概要	<p>小中学校における外国語(英語)活動を充実させるため、日本人ではなく、英語を母国語とする外国人(ALT)による授業を実践する。</p> <p>そのため、(財)自治体国際化協会によるJETプログラムの活用や、地域在住の外国人の登用など、優秀な外国人指導者を確保する。</p>				
事業費(単位:千円)	H22	10,284	H23	9,952	H24 10,360
指導者数		4人		4人	4人
評価(成果)	<p>英会話など生きた英語の指導の重要性が問われる中、加賀市においては、優秀な外国人指導者が確保されている。</p> <p>学習指導要領の改定により、小学校からの外国語(英語)活動の時間も年間35時間に増えるなど、ますます小中学校の英語教育の充実は、欠かすことができないものとして継続していくことが必要である。</p>				

事業名	特別支援教育の充実			担当課	学校指導課
目的	特別支援が必要な児童生徒に対する教育内容を充実することで、健全な学校教育環境の提供を推進する。				
事業の概要	<p>特別支援学級の教材用備品を整備し、教育環境を充実させる。</p> <p>通常学級においても、学習支援が必要な児童生徒や多動傾向でコミュニケーションが困難な児童生徒への学習や生活を支援するための特別支援員を各学校に配置し、特別支援教育を推進するための研修や学習会等により教職員の指導スキルを高めながら教育環境の充実を図る。</p>				
事業費(単位:千円)	H22	27,079	H23	31,477	H24 34,194
特別支援員の人数		30人		34人	36人
評価(成果)	<p>特別支援学級において、教材用備品などの教育環境を充実させることは必要不可欠である。</p> <p>通常学級において支援を必要としている児童生徒に対し、より良い学習環境を提供するためには、特別支援員の人数を増やすとともに各支援員の質を高める必要がある。</p> <p>全ての児童生徒が充実した学校活動を送ることができるよう、今後も特別支援員の配置体制の強化を推進する。</p>				

事業名	学校図書館の充実			担当課	学校指導課
目的	各学校図書館に新たな蔵書を追加、古くなった蔵書と入れ替える等、児童生徒の読書環境を充実させるとともに、学校図書司書を配置し、児童生徒への貸出の促進を図る。				
事業の概要	適正数の蔵書を備え、児童生徒の読書環境を充実させる。				
事業費(単位:千円)		16,117		12,349	10,221
文部科学省が定める標準蔵書冊数達成率	H22	95.8%	H23	94.6%	H24 99.7%
評価(成果)	<p>文部科学省が学級数に応じて定める標準蔵書冊数に対する加賀市の蔵書数の達成率は、小学校 112%、中学校 95%、全体で 99.7%となっており、ほぼ達成されているが、今後も達成率 100%を目指し、蔵書の充実化を図る。</p> <p>平成 24 年度は、20 名の学校図書司書を配置し、複数校兼務ながら全学校の図書館活動を推進している。</p> <p>児童生徒に対する 1 人あたりの年間貸出数は、小学校が 66 冊、中学校が 16 冊でとなっており、小学生の貸出数は年々大幅増加している。しかしながら、石川県平均を大きく下回っており、今後も更なる利用促進を図っていく。中学生はほぼ増減なしの状況が続いてはいるが、石川県平均を若干上回っている。</p> <p>読書習慣の定着は、学力向上にも大きな効果があることから、今後も、学校図書の利用促進のため、蔵書の充実化と学校図書館司書活動の活性化を図っていく。</p>				

4 教職員の資質・指導力の向上

事業名	教職員の指導力向上による適正な学校教育の推進				担当課	学校指導課
目的	教職員の指導力向上を図りながら、学校全体の資質向上を目指す。					
事業の概要	<p>年間を通して、全学校に対し、計画訪問、要請訪問、生徒指導訪問を実施する。更に各学校の課題に応じ県からの専門職員を派遣する等、教職員に対して年間を通して研修会や検討会議を実施及び派遣し、スキルを高めるよう努める。</p> <p>各学校において、課題に対する取り組み状況を自己判定し、その結果を基に改善点等の指導を行い、学校環境の改善を図る。</p>					
事業費(単位:千円)		3,426		2,540		4,740
全国学力学習調査平均正答率の県平均に対する割合	H22	小学6年生 95.7% 中学3年生 94.3%	H23	小学6年生 95.0% 中学3年生 95.7%	H24	小学6年生 96.9% 中学3年生 97.0%
評価(成果)	<p>学校教育の現状は、複雑かつ多様な課題が生じており、学校教職員には高い指導能力と幅広いスキルが求められる。教職員の指導能力を高めることで、子供達の学力向上、生活習慣の改善、快適で有意義な学校生活の提供が効果的に図られ、いじめや不登校の抑制にも寄与している。</p> <p>今後も引き続き訪問指導、研修会や検討会議を積極的に展開し、現状における問題解決、学校教育環境改善等に積極的に取り組んでいく。</p>					

5 地域と学校との連携の促進

事業名	地域人材活用による学校教育の充実				担当課	学校指導課
目的	市内の各地域の専門家や経験豊かな人材を積極的に活用し、地域の歴史、文化、産業等の学習における理解を高めるとともに、児童や生徒が地域に出て体験する場面をつくりながら地域への愛着を深める。					
事業の概要	<p>様々な事業や学習の場面で、地域の人材や場所を活用する。</p> <p>小学校・・・能楽・茶道クラブ活動、自然体験活動、農業体験 中学校・・・運動部活動地域連携指導、職場体験学習</p>					
事業費(単位:千円)	複数の事業にまたがり再掲(単独事業として事業費を計上していない)					
連携学校数	能楽・茶道活動		小学校 21校		小学校 21校	小学校 21校
	自然体験活動		小学校 16校		小学校 16校	小学校 16校
	農業体験	H22	小学校 16校	H23	小学校 17校	小学校 16校
	運動部活動		中学校 4校		中学校 3校	中学校 4校
	職場体験学習		中学校 6校		中学校 6校	中学校 6校
評価(成果)	<p>市内の小中学校における様々な事業や学習の場面で、地域の人材や場所を活用することで、教諭が教えることのできない知識や技術を学習することができるとともに、子供たちが地域を再認識し地域を愛する心を育む良い機会である。</p> <p>加賀市内には多くの有能な人材がおり、今後、新たな人材を発掘しながら相互の連携を深め、優秀な人材の積極的活用を進めることが必要である。</p>					

6 学校における食育の推進

事業名	学校給食施設の適正管理			担当課	学校指導課
目的	加賀市内の小中学校において、適正な給食調理環境づくりを進めるとともに、給食調理従事者の資質向上を図り、児童や生徒に対して、安全でおいしく栄養価の高い学校給食の提供を促進する。				
事業の概要	施設の補修や修繕を行いながら適正な施設管理を行う。 栄養士や調理師を対象とした研修や講習を実施し、知識や技術を高める。				
事業費(単位:千円)		17,861		18,573	18,521
給食時の不具合 年間発生件数	H22	1件	H23	5件	H24 6件
評価(成果)	<p>清潔な調理施設のもと、安心して食すことのできる給食を調理するためには、施設の補修や修繕を行いながら適正な施設管理を行わなければならない。</p> <p>また、美味しく栄養価バランスのとれた給食を子供達に提供するためには、栄養士や調理師の知識や技術を高める必要がある。</p> <p>今後も引き続き、給食施設の適正管理と給食調理従事者のスキルを高め、給食提供時における不具合の年間発生件数0件を目指した取り組みを進める。</p>				

事業名	食に関する指導実践の充実			担当課	学校指導課
目的	加賀市内の児童生徒一人ひとりが食に関心をもち、自らの課題に気付き、よりよく解決しようとする実践的な態度の育成に努め、健全な食生活習慣を身に付けさせる。				
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭、栄養士と連携した指導 ・給食の時間における指導 ・肥満偏食等に応じた指導 ・地産地消の推進、農業体験を通じた指導 				
事業費(単位:千円)		—		—	—
実施学校数	H22	全小中学校	H23	全小中学校	H24 全小中学校
評価(成果)	<p>健康な体と豊かな心を育てるためには、「食」の大切を認識し、各家庭においても健全な食生活を実践することが必要である。</p> <p>各学校では授業や集会での食育指導、魅力ある学校給食を通して、食べることの大切さを学び、子ども達の理解や意欲づけを図っている。また、地元農産物を学校給食に使用することで地産地消を推進し、地域食材の美味しさや良さを知ってもらうことができている。</p> <p>今後は、さらに家庭、地域へ「食」の大切さを発信することにより、保護者などの関心もより深めることが必要である。</p>				

事業名	農業体験の実施			担当課	学校指導課	
目的	農業体験を通して、感じる、発見する、知る、考える、交わる、つくる、食べる、といった様々な機会を子ども達に提供し、「食べ物」の大切さを意識付けさせる。					
事業の概要	加賀市内の全小学校において、地域の人たちの農地(田畑)や学校敷地内で、米や野菜づくりの体験を行う。					
事業費(単位:千円)	H22	411	H23	386	H24	354
実施学校数		全小学校		全小学校		全小学校
評価(成果)	<p>食べ物と農作物とを関連付け、子供たちに農業の大切さを体感させることは、非常に重要である。さらに、地域の人的資源を活用することで、児童自身の地域への愛着心を育み、地域に密着した食育の推進が図られている。</p> <p>一過性の体験授業とならないよう、地域指導者と児童とが触れ合う機会を増やしながらか指導を行なっている。</p> <p>今後も、地域からの様々な学習素材の提供を受けながら体験メニューを充実させ、食べ物を作る楽しさと食べることの大切さを十分理解できるよう取り組みを進めていく。</p>					

7 教育施策の指針となる計画の策定

事業名	教育振興基本計画の策定			担当課	教育庶務課	
目的	本市の教育施策の指針となる加賀市教育振興基本計画を策定し、教育の長期的かつ総合的な推進を目指す。					
事業の概要	平成18年に改正された教育基本法で、教育の振興に関する施策を総合的・計画的に進めるために、地方自治体は教育振興基本計画を策定するよう努めなければならないと規定されている。本市においても、国や石川県が策定した教育振興基本計画を参酌した上で、市の実情に応じた教育振興のための基本的事項を定めた計画を策定し、本市の教育施策の指針とする。					
事業費(単位:千円)	H22	—	H23	282	H24	140
評価(成果)	<p>加賀市教育振興基本計画を策定するにあたり、平成23年度に教育委員会から諮問を受け設置された「加賀市教育振興基本計画審議会」において、平成24年度はパブリックコメントを求めながら2回の審議を行い、8月に計画案をまとめ教育委員会に答申を行った。</p> <p>教育委員会では、答申案について2回にわたり審議を行い、9月に今後10年間の本市の教育施策の指針となる「加賀市教育振興基本計画」を策定した。</p> <p>基本計画の策定によって、加賀市教育委員会の5課体制で、学校教育、生涯学習、スポーツ、文化それぞれの業務を総合的に進めるための基本理念や基本目標を、市民に明確に示すことができた。今後は目標の実現に向け必要な施策を着実に実施していく。</p>					

施策3 生涯学習・生涯スポーツの推進

余暇時間の増大や高齢化などの社会環境の変化により、心の豊かさや生きがいを求める市民が増加傾向にある。また、生涯学習、スポーツに関するニーズは多様化してきている。

こうした状況を踏まえ、加賀市として、市民が自分にあった学習やスポーツに、気軽に参加できる機会を充実させるとともに、市民が持っている能力を積極的に地域に還元していくシステムの構築事業を実施しました。

生涯学習・生涯スポーツの充実施策の方向について

項目	内容	主な事業名	担当課
1. まちづくり交流大会やスポーツイベントの開催	生涯学習や生涯スポーツの普及、学習意欲を高めてもらうため、練習成果を発表し、交流を深め合う場を提供します。	まちづくり交流大会の開催／全国健勝マラソン加賀温泉郷大会の開催／市民スポーツ祭の開催／レクリエーションスポーツ大会の開催／市民山登りの開催	生涯学習課 スポーツ課
2. 図書館機能の充実	市民の多様なニーズに対応する生涯学習の場として、資料の充実に努め、機能的かつ満足度の高いサービスを市内全域に提供し、市民に親しまれる図書館をつくります。	蔵書の充実／レファレンス(相談機能)の充実／自動車文庫・地区巡回サービスの充実／図書館の適正管理	生涯学習課 (図書館)
3. 各種教室・講座の開催	市民の生涯学習・生涯スポーツを活性化するため、魅力ある教室・講座を開催します。	かがやき市民大学校制度の充実／かもまる講座の充実／市民夏期大学講座の開催	生涯学習課
4. 生涯学習・生涯スポーツ施設の充実	市民の生涯学習活動の推進や体力づくり、健康の保持増進を支援するため、施設の整備と充実を図ります。	生涯スポーツ施設の有効活用／生涯学習施設の適正管理／生涯スポーツ施設の適正管理	生涯学習課 スポーツ課
5. スポーツ団体の育成支援	スポーツ振興のため、スポーツ団体を育成し支援していきます。	スポーツ団体の育成支援	スポーツ課
6. 総合型地域スポーツクラブへの支援	スポーツを通じた健康づくりのため、子どもから高齢者までが気軽に参加し、楽しむことができる総合型地域スポーツクラブを育成・支援します。	スポーツ教室の開催の運営支援	スポーツ課
7. スポーツプログラマーなどによる体力づくりの支援	健康増進やけがの防止のため、スポーツプログラマーなどによる的確な指導、助言をします。	スポーツプログラマーによる指導／各地区・スポーツ団体を対象とした体力テスト会の開催	スポーツ課
8. 各種活動情報の提供	より活発な活動となるよう生涯学習・生涯スポーツ活動の情報提供を行います。	各種活動情報の提供	生涯学習課 スポーツ課 文化課

生涯学習・生涯スポーツの推進事業の点検・評価

1 まちづくり交流大会やスポーツイベントの開催

事業名	まちづくり交流大会の開催				担当課	生涯学習課
目的	多くの市民に参加してもらい、生涯学習活動を習慣化し、地域に生涯学習推進の輪を広げる。					
事業の概要	20 地区の公民館による、地区作品展示やまちづくり推進協議会と公民館についてのパネルディスカッション、各種教室を行うことで生涯学習の機会の提供を行う。 ・実施事業 - 全地区作品展示、パネルディスカッション、各種教室					
事業費(単位:千円)	H22	—	H23	87	H24	—
参加者数		—		350 人		—
評価(成果)	平成 24 年度は、まちづくり交流大会の内容の見直しや、大会そのもののあり方を検討するため実施を見送り、平成 25 年度にリニューアル開催を目指すこととした。 各地区の生涯学習推進に係る事業の取り組みや公民館活動を多くの市民に周知することや、市民の生涯学習等の発表の場として事業を継続することが必要である。					

事業名	全国健勝マラソン加賀温泉郷大会の開催				担当課	スポーツ課
目的	全国各地から参加者を募集し、加賀市のスポーツ振興と観光交流人口の拡充を図る。また、マラソンを通じて参加者と市民が交流を深め、健常者も障がい者も楽しめる大会とする。					
事業の概要	個人の体力に応じた種目が選択できるようフルマラソン、ハーフマラソン、10km、5km、3km、2km、車いすハーフマラソン、2km ジョギングなどの多種目を 33 部門に分けて実施する。また、体育協会をはじめ、スポーツ推進委員会、3温泉観光協会、レディー・かがら約 650 名のボランティアスタッフで競技を運営する。					
事業費(単位:千円)	H22	3,000	H23	3,000	H24	3,000
参加申し込み数		2,230 人		2,226 人		3,119 人
評価(成果)	これまで市民の健康増進を目的に開催してきた「全国健勝マラソン日本海大会」の名称を「全国健勝マラソン加賀温泉郷大会」に変更し、観光誘客を意識した大会運営に努めた結果、前回大会より約 1,000 人増の 3,119 人の参加を得ることができた。 このことが、平成 25 年度にコース設定等を一新して開催された「加賀温泉郷マラソン」の契機となった。					

事業名	市民スポーツ祭の開催		担当課	スポーツ課		
目的	運動習慣のない市民が気軽に参加できる事業にするため、誰もが参加できる様々な競技、種目等を企画し、スポーツに親しみながら運動の素晴らしさが実感できる事業を目指す。					
事業の概要	加賀市体育協会の事業で、各単位協会理事による実行委員会を設け、企画・運営を行っている。市民体育大会の総合開会式終了後、体育協会係員とスポーツ推進委員、スポーツ課員が協力して、ニュースポーツ大会、各種スポーツ体験コーナー、スポーツチャレンジコーナー等を開催している。					
事業費(単位:千円)	H22	—	H23	—	H24	—
参加者数	H22	2,000 人	H23	2,000 人	H24	2,279 人
評価(成果)	<p>加賀市体育協会の独自事業であるが、スポーツ推進委員、市スポーツ課とのタイアップでニュースポーツの紹介、各種スポーツ体験、ソフトバレーボール大会、うどんや杵つき餅など飲食コーナーの設置などを行った。各々の協会係員や関係者と共に、スポーツ交流や親睦を図ったことは、市民のスポーツに対する意識の高揚を図る上では大変意義深いものであった。</p> <p>今後も、小額の経費で子どもから高齢者までが一同に集まり、楽しいスポーツイベントに発展させるための継続した創意工夫が必要である。</p>					

事業名	レクリエーションスポーツ大会の開催		担当課	スポーツ課		
目的	誰でも、気軽に参加できるレクリエーションスポーツを普及することで、市民の健康増進、体力向上を目指す。特に、平成 24 年度からは、大会名、内容ともリニューアルし、若年層の参加者を増加させることを目的とする。					
事業の概要	冬季のレクリエーションスポーツの普及促進を目的とし、誰もがその場ですぐに楽しめる8種目の競技を行うことで、運動不足解消や市民が運動の大切さを考える一日とする。運営はスポーツ推進委員と市スポーツ課が行っている。					
事業費(単位:千円)	H22	95	H23	74	H24	226
参加者数	H22	118 人	H23	100 人	H24	84 人
評価(成果)	<p>参加者は減少したものの、若年層の参加者は約 2 倍増加し、当初の目的であった「若年層の参加者を増加させること」は十分達成できた。</p> <p>また、主催であるスポーツ推進委員会は任期 1 年目の委員が多い中、昨年度までの「ニュースポーツ」という既存の枠組みにとらわれることなく、創意工夫をこらしたレクリエーション性の高い競技を開発し、主体性を持って、大会の企画・運営をしたことは大変意義深いものであった。</p> <p>今後は、広報活動に力を入れ、スタッフ、参加者から出された意見を反映させる等、より市民に愛される大会にしていく。</p>					

事業名	市民山登りの開催				担当課	スポーツ課
目的	市内の山を登山することにより地元愛を深め、市民の健康増進・体力づくりに繋げる。					
事業の概要	毎年10月にスポーツ推進委員会が主催となり市内の山を登山する。加賀山岳会には周辺の動植物についての解説、消防職員には緊急時に備え救護体制のサポートをしてもらい、初心者でも安心して登山できる体制を整えている。					
事業費(単位:千円)	H22	—	H23	—	H24	—
教室参加者数		88人		0人		13人
評価(成果)	<p>平成22年度に比べ参加者は減少したものの、新規参加者が多く、若年層の申し込みも目立った。また、新しい試みとして道中でレクリエーションクイズを行なった。</p> <p>参加者数は少なかったが、参加者とスタッフとの距離も近く山登りの楽しさを知っていただけだったので、本事業の目的であった「寺尾観音山をトレッキングし、地元愛を深め、健康増進・体力づくりに繋げる」は十分に達成でき、質の高い市民山登りとなった。</p> <p>今後も登山人口の底辺拡大に努め、地元愛の醸成、市民の健康増進・体力づくりに貢献するイベントとして成長させていく。</p>					

2 図書館機能の充実

事業名	蔵書の充実				担当課	図書館
目的	市民のニーズに沿った資料を収集する。					
事業の概要	司書による選書会議(週一回)・出版社からの現物本の見計らいでの選書を行う。					
事業費(単位:千円)	H22	22,660	H23	17,824	H24	17,987
蔵書数		295,035冊		301,892冊		305,559冊
評価(成果)	<p>質的には利用者のリクエストや図書館の予約により市民ニーズを把握し、市民と直接対応している司書が資料を選ぶことで、市民の多様なニーズを反映させた蔵書の充実に努めている。</p> <p>また、ニーズがなくなった書物は廃棄し、適切な蔵書管理に努めている。</p> <p>蔵書の充実の効果は、速効性はないが、徐々に現れるものと考えている。</p>					

事業名	レファレンス(相談機能)の充実		担当課	図書館		
目的	レファレンスサービスの定着、調査時間の短縮、調査事項への的確な対応の提供を図る。					
事業の概要	資料を整備し、補助ツールの作成を図るとともに、それらを駆使し、最大限に活かすためのレファレンス研修や情報の共有化を図る。					
事業費(単位:千円)	H22	—	H23	—	H24	121
レファレンス件数		1,940 件		2,656 件		4,856 件
評価(成果)	<p>レファレンスツールや参考図書等の資料を見直し、レファレンス資料を充実させるとともにレファレンスに対して、迅速に、かつ的確に対応できるよう、積極的に研修等に参加し、職員の資質向上に努めた。</p> <p>このことによりレファレンス件数が増え、多様な市民ニーズに応えることができた。</p>					

事業名	自動車文庫・地区巡回サービスの充実		担当課	図書館		
目的	図書館サービスを市内全域で実施する。					
事業の概要	自動車文庫は主に児童を対象とし、市内小学校、保育園を3週間に1回巡回し、約3,000冊の図書を運搬する。地区巡回サービスは高齢者等を中心に予約された図書を地区会館を毎週巡回し配達する。					
事業費(単位:千円)		2,127		2,636		1,908
自動車文庫貸出し冊数	H22	21,128 冊	H23	22,647 冊	H24	23,931 冊
地区貸出し冊数		1,575 冊		1,272 冊		997 冊
評価(成果)	<p>小学校、保育所を巡回する自動車文庫や地区巡回サービスは、市内全域にサービスを提供する事業として重要である。</p> <p>指標としてかかげてはいないが、平成24年度の地区の返却冊数は約3,600冊あり、図書館で本を選び、住所の近くで返却する傾向になりつつあると考えられる。</p> <p>このサービスを充実させることで、図書館利用が増えることにつながる。</p>					

事業名	図書館の適正管理		担当課	図書館	
目的	図書館利用を増大させることで、市民の生涯学習活動を活性化させ、市民文化の高揚を図る。				
事業の概要	市民の利便性を考えた運営管理に努めるとともに、各種教室、講座やおはなし会等の開催、市民の憩いの場の提供を行う。				
事業費(単位:千円)		45,265		80,655	25,672
図書館貸出利用者数	H22	100,415人	H23	104,318人	H24 104,424人
図書館事業参加者数		8,617人		7,033人	9,316人
評価(成果)	<p>図書サービスや各種教室、講座等を実施し、市民に図書館を利用してもらうことは、生涯学習活動の中心的な場所として図書館があることを認知してもらうことになる。</p> <p>市民の生涯学習活動の後押しするためにも、適正な運営管理に努めていく。</p>				

3 各種教室・講座の開催

事業名	かがやき市民大学校制度の充実		担当課	生涯学習課	
目的	市民にとって認定証や学士・修士・博士の称号の授与が生涯学習に取り組む励みとなり、生きがいづくりを推進する。				
事業の概要	生涯学習に親しむきっかけづくりのため、自己申告制による点数獲得運動(100点運動)を展開する。点数獲得者には、認定証の交付や市広報誌、加賀市及び加賀市教育委員会のホームページ上で達成者として紹介するほか、称号授与者には生涯学習課にて記念品を進呈する。				
事業費(単位:千円)		3		15	13
100点獲得者数	H22	5人	H23	8人	H24 22人
評価(成果)	<p>自己申告制で手軽に取り組め、かつ自らの生涯学習活動についてふりかえりやすくなるため、市民の生涯学習活動推進に役立っている。また、認定証・称号授与書の交付や市広報誌等への掲載、生涯学習推進等の大会での高得点者の表彰などが取り組む上での励みになっている。</p> <p>今後は事業の認知度を高めるため、市広報誌や加賀市及び加賀市教育委員会のホームページ、各種イベント等で周知活動を続け、制度を定着させるとともに、点数獲得者には自己が学んだことの発表や活躍の場を提供するなど、継続的に生涯学習活動に取り組めるような仕組みづくりを検討する。</p>				

事業名	かもまる講座の充実				担当課	生涯学習課
目的	市民の各種グループや町内会等の更なる利用を促進し、地域に根ざした行政、生涯学習の推進を目指す。					
事業の概要	市の業務内容に関して生涯学習講座として各種メニューを設け、市職員が出前で講座を開催する。(対象 原則市内の10人以上のグループ・団体)					
事業費(単位:千円)	H22	—	H23	—	H24	—
講座申請件数		168件		219件		226件
評価(成果)	<p>かもまる講座の件数はH23年度に引き続き、200件を超えている。</p> <p>消防の基礎救命講座やスポーツ課のニュースポーツ等の講座に根強い人気があるが、実施回数や社会情勢を勘案して講座メニューを見直し、「携帯電話の危険性について考える(学校指導課)」「女性がん予防(健康課)」「高齢者おたっしやプランについて(地域包括支援センター)」等6講座を新設、7講座を取り止め、平成24年度は60講座とした。</p> <p>新事業に関する講座の利用もあり、新しい市の施策について市民が理解を深めるよいツールの一つになっている。</p> <p>今後も更なる利用を促進するため、毎年度講座メニューの更新を行い、社会環境や市民ニーズに即した講座実施に努め、さらに効果的な広報方法についても検討していく。</p>					

事業名	市民夏期大学講座の開催				担当課	生涯学習課
目的	生涯学習の一環として、幅広い分野より著名な講師の時宜に合った講演を聴講することで市民の教養文化の向上に資する。					
事業の概要	8月初旬、3夜連続で市民を対象に、政治・経済・国際情勢・環境・歴史・文化等幅広い分野から現在中央で活躍されている著名な講師を招き、時宜にあったテーマで講演会を開催する。23年度からは2夜となった。					
事業費(単位:千円)	H22	1,082	H23	1,071	H24	1,096
夏期大学参加者数		462人		330人		240人
評価(成果)	<p>平成3年度より開催し、22回目を数える。</p> <p>講師の知名度が参加者数に大きく影響しており、年度により参加者数に差があるが、講演内容については、市民の関心が高いテーマを設定し、聴講者アンケートの結果も良好だったため、今後も時宜に適った人選とテーマ設定に努める。</p> <p>例年、会場は市民会館のみだったが、平成24年度は市民会館と文化会館とに会場を分けて開催し、聴講者の拡大に努めた。</p> <p>結果として、文化会館の会場分で聴講者数が目標を大きく下回り、聴講者アンケートからは、会場を分けない方がよいという意見が多く、今後は従来どおり市民会館のみで開催していく。情報化社会の進展や個人の価値観も多様化している中、時代ニーズに合った講師の選定とより多くの聴講者を集めるため関係機関や団体等に積極的に働きかけていく。</p>					

4 生涯学習・生涯スポーツ施設の充実

事業名	生涯スポーツ施設の有効活用				担当課	スポーツ課
目的	体育施設の空きスペースを有効に使用できるように、日中の利用が少ない時間帯に活動できる高齢者や家庭婦人などの教室を開くことで利用促進を図る。					
事業の概要	スポーツ施設の有効活用につながる事業を実施する。					
事業費(単位:千円)	H22	—	H23	—	H24	—
全スポーツ施設利用者数		356,117人		362,249人		375,702人
評価(成果)	<p>現在、市内の団体、クラブ等から「かもまる講座」によるニュースポーツ体験等の講師派遣依頼が多数あるが、利用施設は町民会館などの集会施設が多く、ニュースポーツや体力テストなどを行うにはスペースの制約が多い。</p> <p>今後は、他部局(長寿課、健康課、社会福祉協議会等)とも協力しながら、中高齢者を中心としたスポーツ活動を継続的に行うクラブ等の育成に努め、体育施設の空き時間の有効活用を進める。</p>					

事業名	セミナーハウスあいりすの適正管理				担当課	生涯学習課
目的	研修室や宿泊施設等各施設の利用人数の増加を図り、あいりすの効率的な運営を行う。市民に生涯学習推進の場を提供する。					
事業の概要	施設の適正管理・有効活用のため指定管理者制度を導入(H18～H22 モア、H23～Paradies・のと楽グループ)し、利用者の増加を目指して効率的な運営を図る。					
事業費(単位:千円)	H22	18,846	H23	22,742	H24	23,444
利用者数(研修室)		20,896人		21,452人		21,545人
宿泊者数		4,470人		4,299人		3,970人
評価(成果)	<p>平成18年度より指定管理者制度導入、平成23年度に指定管理者が変わり2年目を迎える。宿泊者数は年間4,000人を維持している。また、レストランの運営にも力を入れ、日替わりの定食メニューや夏場の屋外バーベキューを設定し、評判を得ている。</p> <p>改善点として、宿泊室利用では市外からの宿泊者が大きな割合を占めているため、市内からの利用促進に向けて、泊りがけでの企業研修や学習会、部活動等での利用を促していく。加えて、冬期間の利用者が著しく少ないため、冬休みや春休みの利用促進が課題である。</p> <p>施設の整備としては、今年度は宿泊室の個別空調の整備を行った。今後も老朽化した施設や設備の修繕等に対応していく。</p>					

事業名	文化会館の適正管理		担当課	生涯学習課		
目的	利用者の拡大と管理経費の削減を図る。					
事業の概要	施設の適正管理・有効活用のため、指定管理者制度を導入し、より利用者の増加を目指して効率的な運営を図る。					
事業費(単位:千円)		70,486		88,121	55,183	
利用者数	H22	73,894人	H23	77,090人	H24	82,678人
会場使用料(単位:千円)		13,980		13,438	14,352	
評価(成果)	<p>指定管理者が4年目を迎え、ホール利用や各研修室等利用人数は増加している。特に、子どもを対象とした夏休みワクワク映画祭りやロビーコンサートを行うなど、誰でも気軽に利用できる文化会館を目指して自主事業の拡大に力を入れており、指定管理者の経営努力が見られる。</p> <p>施設自体開館後30年を経過し老朽化が目立っている。今年度は懸案だった屋上防水工事、消防設備改修工事等を行った。今後も定期的な施設の修繕が必要である。また、来年度以降の耐震工事等の大規模修繕の実施が課題となっている。</p> <p>今後も、利用者ニーズに合ったサービス向上と施設・設備の改善に努める。</p>					

事業名	加賀体育館の適正管理		担当課	スポーツ課		
目的	プールを除く体育施設全体を同一業者において管理運営を行い、サービスを向上させることで利用促進を目指す。					
事業の概要	指定管理者制度を導入し、管理運営を加賀市総合サービス株式会社に委託している。					
事業費(単位:千円)		15,645		15,645	15,645	
利用者数	H22	43,152人	H23	42,354人	H24	45,011人
評価(成果)	<p>指定管理者制度を導入し、経費の削減とより安全性を考慮した管理運営を行っている。平成24年度は中高年スポーツクラブや高校運動部の利用増により総利用者が増加したが、より一層施設の利用促進をはかるため、さらに利用者の意向を把握し、市民に対して情報配信することも必要だと考えている。</p> <p>また、施設はかなり老朽化しているが、平成26年度予定の耐震補強工事に合わせて計画的に修繕を行う。</p>					

事業名	水泳プールの適正管理		担当課	スポーツ課		
目的	プールの管理運営における専門業者によって、サービスを向上させることで利用促進を目指す。					
事業の概要	指定管理者制度を導入し、管理運営を株式会社エイムに委託している。					
事業費(単位:千円)	H22	24,000	H23	24,000	H24	24,000
利用者数		60,147人		60,645人		63,968人
評価(成果)	<p>プール事業を得意とする業者が指定管理を行っており、平成24年度は再塗装工事を行ったこともあり、屋外プールの利用者が増加し、市民の健康増進に貢献している。今後も利用しやすい施設運営と民間の活力やオリジナリティー溢れる自主事業(各種教室)を展開し、各種大会誘致など新しい企画等を立ち上げ、より一層の利用者増を目指す取り組みが求められる。</p> <p>一方、施設の老朽化が進み、多く不具合が見られる。今後の指定管理に支障の無いよう、計画的な修繕を行っていく。</p>					

事業名	野球場の適正管理		担当課	スポーツ課		
目的	プールを除く体育施設全体を同一業者において管理運営を行い、サービスを向上させることで利用促進を目指す。					
事業の概要	指定管理者制度を導入し、管理運営を加賀市総合サービス株式会社に委託している。					
事業費(単位:千円)	H22	10,020	H23	10,020	H24	10,020
利用者数		18,256人		24,699人		20,605人
評価(成果)	<p>指定管理者によりスポーツセンター並びに陸上競技場と一体的な管理がなされており、市民サービスの向上と管理経費の削減に貢献している。</p> <p>利用者数が前年を下回ったため、更なる利用促進に向けどのような取り組みが必要かを検討する必要がある。</p> <p>また、施設も管理棟の雨漏れ箇所が多く見られるため、今後大規模な修繕を行う。</p>					

事業名	陸上競技場の適正管理		担当課	スポーツ課		
目的	プールを除く体育施設全体を同一業者において管理運営を行い、サービスを向上させることで利用促進を目指す。					
事業の概要	指定管理者制度を導入し、管理運営を加賀市総合サービス株式会社に委託している。					
事業費(単位:千円)	H22	9,409	H23	9,409	H24	9,409
利用者数		28,069人		27,360人		37,192人
評価(成果)	<p>県内でも数少ない第2種公認の陸上競技場として、指定管理者によりスポーツセンター並びに野球場と一体的に管理し、合理的かつ安全性に配慮した管理がなされている。昨年は大幅に利用者が増加し、市民の健康増進と青少年のスポーツ推進に大きく貢献している。</p> <p>今後はさらに市民に利用しやすい施設管理と、利用促進のための情報発信に努め、さらに利用者の増加を目指す。</p> <p>一方、経年劣化など修繕箇所も増えており、計画的に修繕を行う。</p>					

事業名	夜間照明施設の適正管理		担当課	スポーツ課		
目的	夜間照明施設を利用しやすいように、不具合や故障の場合には、早期に改善し、迅速に利用できることを目指す。					
事業の概要	各地区の学校等のグラウンドには、夜間照明施設を設置し、夜間でも使用できるようにしている。各施設の受付は、各まちづくり推進協議会や加賀体育館及び山中健民体育館で行っている。					
事業費(単位:千円)	H22	2,313	H23	1,902	H24	3,068
夜間施設数		19施設		18施設		18施設
評価(成果)	<p>夜間照明施設については、老朽化(投光器・分電板・配線・コインボックス等)が進んでおり、突発的(緊急)に修繕しなければならないことが多い。</p> <p>今後、利用状況や各まちづくり推進協議会との意見調整を図り、夜間照明施設の集約化を図っていく。</p> <p>平成24年度は2施設を撤去し、平成25年度も同じく2施設の撤去を予定している。</p>					

事業名	スポーツセンターの適正管理		担当課	スポーツ課		
目的	プールを除く体育施設全体を同一業者において管理運営を行い、サービスを向上させることで利用促進を目指す。					
事業の概要	指定管理者制度を導入し、管理運営を加賀市総合サービス株式会社に委託している。					
事業費(単位:千円)	H22	15,983	H23	15,983	H24	16,191
利用人数		47,121人		52,576人		53,328人
評価(成果)	<p>市内では観客席を備えた数少ない屋内運動施設であり、中央公園スポーツゾーンの中心施設である。陸上競技場並びに野球場と一体的な管理がなされており、ここ数年、一般・少年・高校生の各クラブ利用が増え順調に利用者数を伸ばしている。</p> <p>さらに利用者の利便性を高めるため、平成 25 年度には各競技のライン引き工事を実施する。</p>					

事業名	武道館の適正管理		担当課	スポーツ課		
目的	プールを除く体育施設全体を同一業者において管理運営を行い、サービスを向上することで利用促進を目指す。					
事業の概要	指定管理者制度を導入し、管理運営を加賀市総合サービス株式会社に委託している。					
事業費(単位:千円)	H22	940	H23	940	H24	940
利用人数		38,697人		37,194人		37,897人
評価(成果)	<p>利用者数は横ばいであるが、指定管理により加賀体育館と一体的に市民のニーズに応えられる施設管理を行っている。今後はより利用しやすい施設管理や情報発信を行い、利用者の増加を目指す。</p> <p>なお耐震診断が未実施の施設であり、今後計画していく。また、施設も経年による劣化があり、計画的に修繕を行う。</p>					

事業名	中央公園体育館の適正管理		担当課	スポーツ課		
目的	プールを除く体育施設全体を同一業者において管理運営を行い、サービスを向上させることで利用促進を目指す。					
事業の概要	指定管理者制度を導入し、管理運営を加賀市総合サービス株式会社に委託している。					
事業費(単位:千円)	H22	7,220	H23	7,220	H24	7,220
利用人数		14,586人		18,251人		14,591人
評価(成果)	<p>24年度は大きく利用者が減少したが、今後は中央公園利用者に屋内で行える魅力的な軽スポーツ用具を貸し出すなど、利用促進を図っていく。</p> <p>なお耐震診断が未実施であり今後計画していく。また施設は経年劣化が進んでおり、安全性を保つために計画的な修繕を行う。</p>					

事業名	山中健民体育館の適正管理		担当課	スポーツ課		
目的	プールを除く体育施設全体を同一業者において管理運営を行い、サービスを向上することで利用促進を目指す。					
事業の概要	指定管理者制度を導入し、管理運営を加賀市総合サービス株式会社に委託している。					
事業費(単位:千円)	H22	15,699	H23	15,699	H24	15,699
利用者数		22,524人		22,245人		20,258人
評価(成果)	<p>指定管理者により、経費の削減とより安全性を考慮した管理運営を行っており、安定した利用がある。今後も、利用者の意見を聞き、利用しやすい施設運営を行うとともに、温泉地内の施設である利点を活かし、各種団体の合宿等の誘致など、利用者の増加に繋げていく。</p> <p>また、施設の経年劣化が進んでおり、計画的な修繕を行う。</p>					

事業名	山中武道館の適正管理		担当課	スポーツ課		
目的	プールを除く体育施設全体を同一業者において管理運営を行い、サービスを向上させることで利用促進を目指す。					
事業の概要	指定管理者制度を導入し、管理運営を加賀市総合サービス株式会社に委託している。					
事業費(単位:千円)	H22	1,241	H23	1,241	H24	1,241
利用者数		8,089人		6,047人		5,911人
評価(成果)	<p>指定管理者により、経費の削減とより安全性を考慮した管理運営を行っている。平成24年度は利用者が減少したが、今後はより一層利用者の意見を聞き、利用しやすい施設運営を行っていく。</p> <p>また、施設の経年劣化が進んでおり、今後の施設維持に必要な修繕を計画的に行う必要があるが、施設の耐震性に問題があれば、加賀武道館との施設統合を検討していく。</p>					

事業名	山中弓道場の適正管理		担当課	スポーツ課		
目的	プールを除く体育施設全体を同一業者において管理運営を行い、サービスを向上させることで利用促進を目指す。					
事業の概要	指定管理者制度を導入し、管理運営を加賀市総合サービス株式会社に委託している。					
事業費(単位:千円)	H22	744	H23	744	H24	744
利用者数		3,798人		4,502人		4,615人
評価(成果)	<p>指定管理者により、経費の削減と安全性を考慮した管理運営を行い、また定期利用団体の日常の献身的な自主的管理運営により、ここ数年大きく利用者が増加している。</p> <p>今後も、利用者の意向の把握に努め、利用しやすい施設運営を行うことで、より一層の利用者増に繋げていく。</p> <p>また、施設は経年劣化が進んでおり、計画的に修繕を行っていく。</p>					

事業名	山中球場の適正管理		担当課	スポーツ課		
目的	プールを除く体育施設全体を同一業者において管理運営を行い、サービスを向上させることで利用促進を目指す。					
事業の概要	指定管理者制度を導入し、管理運営を加賀市総合サービス株式会社に委託している。					
事業費(単位:千円)	H22	4,261	H23	4,261	H24	4,261
利用者数		7,832人		6,229人		6,294人
評価(成果)	<p>指定管理者により、経費の削減とより安全性を考慮した管理運営を行っている。利用者は横ばいの状態だが、少年野球を中心に一般市民の利用も促進されている。</p> <p>今後よりいっそうの利用促進を図るため、常に市民のニーズを把握し、使いやすい施設運営を行っていく。</p> <p>また、今後、施設の老朽化に伴う修繕が必要となるが、計画的に取り組んでいく。</p>					

事業名	その他体育施設の適正管理		担当課	スポーツ課		
目的	プールを除く体育施設全体を同一業者において管理運営を行い、サービスを向上させることで利用促進を目指す。					
事業の概要	<p>指定管理者制度を導入し、管理運営を加賀市総合サービス株式会社に委託している。</p> <p>片山津野球場、ソフトボール場、相撲場、中央公園テニスコート、大聖寺グラウンド、山代グラウンド、動橋グラウンド、加賀市大聖寺テニスコート、山中健民テニスコート</p>					
事業費(単位:千円)	H22	7,028	H23	7,028	H24	7,028
利用人数		63,846人		60,147人		66,032人
評価(成果)	<p>指定管理者により経費の削減と、より安全性を考慮した管理運営を行っており、24年度は利用者が1割増加した。市民の利用促進を促すには、より柔軟な発想の元に施設利用の固定概念に捉われないこと、何が必要かを見極め積極的な対応を図る必要がある。</p> <p>また、各施設は経年劣化による不具合が多く発生しており、今後の施設維持に必要な修繕を計画的に行う。</p>					

5 スポーツ団体の育成支援

事業名	スポーツ団体の育成支援				担当課	スポーツ課
目的	スポーツ団体を活発に活動させることで、加盟者の増加やスポーツ成績の向上となり、市民がスポーツを通して一体となることで、元気なまちづくりを目指す。					
事業の概要	市内スポーツ団体に補助金・委託料等を助成したり、活動育成のための助言を行う。					
事業費(単位:千円)	H22	11,919	H23	12,367	H24	15,460
評価(成果)	<p>スポーツ団体や個人を活発に活動させることで、スポーツ人口の増加やスポーツ成績の向上に繋がるよう取り組んだ。</p> <p>今後も石川県体育協会、加賀市体育協会及びその加盟単位協会、中体連、高体連などと連携をより密にし、各種スポーツ競技団体の活動育成のための助言を行う。</p>					

6 総合型地域スポーツクラブへの支援

事業名	スポーツ教室の開催の運営支援				担当課	スポーツ課
目的	体育協会に加盟していない市民が、スポーツを楽しめるクラブとして発展させ、スポーツの振興を推進する。					
事業の概要	市が行っていたシェイプアップ倶楽部の運営を総合型地域スポーツクラブ等に移行させることで、会員の増加や資金面の安定が得られる。また、市が総合型クラブの企画に対し助言指導することで、クラブの充実につなげる。					
事業費(単位:千円)	H22	—	H23	—	H24	—
教室会員数	H22	270人	H23	345人	H24	345人
評価(成果)	石川県教育委員会、石川県体育協会および加賀市体育協会等と連絡を密にするとともに、総合型地域スポーツクラブの意義や目的などについて再考し、これまで以上にクラブ運営が隆盛し、市民にとって魅力あるものとなるよう支援する。					

7 スポーツプログラマーなどによる体づくりの支援

事業名	スポーツプログラマーによる指導		担当課	スポーツ課	
目的	各団体の目的により、そのニーズに合わせた指導(講義・実技)方法を考えるとともに、生涯スポーツを推進する。				
事業の概要	かもまる講座を中心として、各種団体等からの依頼により、そのニーズにあった指導を実施している。				
事業費(単位:千円)	H22	—	H23	—	H24
指導回数		18回		18回	23回
評価(成果)	市内の各団体等から、健康・体づくり教室の講師派遣要請や自己の体力年齢診断テストの開催依頼があり、そのような中で職員の資質向上、スポーツ推進委員の指導力アップ等も図りながら、地域住民の体力向上、健康の保持増進のために積極的に講習会に参加し指導をした。				

事業名	各地区・スポーツ団体を対象とした体力テスト会の開催		担当課	スポーツ課	
目的	地域住民の健康の保持増進のために、初めに自分の体力指数を把握し、その値を全国平均値等と比較する。その結果を元に、指導助言を行う。				
事業の概要	高齢者運動教室参加者等へ体力テスト(アンケート)会を実施し、評価指導を行う。				
事業費(単位:千円)	H22	—	H23	—	H24
指導回数		3回		3回	3回
評価(成果)	各まちづくり推進協議会や健康課、社会福祉協議会等と協力しながら、文部科学省認定の体力テストやアンケート調査を実施した。それらを的確に分析評価するとともに、参加者に対し体力年齢の判定や体力向上、健康の維持増進のための手法を指導している。				

8 各種活動情報の提供

事業名	各種活動情報の提供		担当課	生涯学習課・文化課・スポーツ課	
目的	市民への情報提供により、生涯学習、生涯スポーツの推進を図る。				
事業の概要	市広報、ホームページ、CATV等を活用した情報提供				
事業費(単位:千円)	H22	—	H23	—	H24
ホームページ掲載数		35回		57回	71回
評価(成果)	<p>生涯学習、生涯スポーツ事業や共催事業について、市広報誌や加賀市及び加賀市教育委員会ホームページ、ケーブルテレビ等を活用して市民へ情報提供を行い、加賀市の生涯学習、スポーツの推進に努めた。</p> <p>自然体験カレンダーや子育て親育ちカレンダーをこども課と協力して作成、配布するなど広く市民の方に情報提供を行った。</p> <p>また、各まちづくり推進協議会の地区だよりに掲載をお願いし、多くの市民の方に生涯学習事業を知ってもらえるように情報発信を行った。</p> <p>今後も各種活動情報の提供に努めるとともに、様々な場面での周知方法を検討していく。</p>				

施策4 青少年を健やかに育てる事業の推進

少子化や核家族化により、青少年期に必要な地域での社会教育の機会が不足しており、また、青少年の健全育成を阻害する有害な情報が氾濫し、青少年を取り巻く環境は著しく変化をしてくれている。

こうした社会背景の中で、健やかで、豊かな心を持った青少年を育てるため、家庭、学校、地域が連携し様々な健全育成活動に取り組み、健全育成のための社会環境づくりを推進する事業を実施しました。

青少年を健やかに育てる施策の方向について

項目	内容	主な事業名	担当課
1. 心の教育の推進	子どもたちの豊かな心を育むため、家庭・学校・地域社会が、社会生活上のルールやモラル、命の大切さなどを様々な体験や交流活動を通して子どもたちに教えます。	心の教育推進会議の開催	生涯学習課
2. あいさつ運動の全市的な推進	家庭・学校・地域であいさつを交わし合う輪の広がりに努め、あいさつのまち「加賀市」を目指します。	あいさつ運動及びグッドマナーキャンペーンの実施	生涯学習課
3. 青少年育成センターの充実	不登校・補導・相談の3部門を担う青少年育成センターを充実させ、学校教育を支援します。	青少年育成センターの充実	学校指導課
4. 子ども会など青少年団体活動の推進と支援	子ども会活動を活発化するため、青少年の各種大会の開催を支援します。	子ども会活動への支援と青少年への情報提供	生涯学習課
5. 社会環境浄化運動の推進	青少年の非行を防ぎ、住みよい環境づくりのため、社会環境の浄化、非行防止運動を実施します。	社会環境浄化運動の推進	生涯学習課

青少年を健やかに育てる事業の点検・評価

1 心の教育の推進

事業名	心の教育推進会議の開催		担当課	生涯学習課	
目的	市内の青少年の健全育成、心の教育推進に向けた活動を促す。				
事業の概要	青少年健全育成に携わる団体の代表者を集め会議を開く。そこで、青少年の生活環境や現状を把握し意見交換をする。また、講師を招いて青少年健全育成の一助にする。会議で話し合われたことを各団体地域に持ち帰り育成活動に役立てる。				
事業費(単位:千円)	H22	—	H23	—	H24
参加人数	18人		20人		17人
評価(成果)	<p>平成18年度以降補助金の廃止により活動が縮小している。</p> <p>近年の情報機器の発達等で青少年を取り巻く状況は益々悪化し数々の問題が各地でおこっている中、各種青少年育成団体や各地区の関係団体が一同に会し、情報交換や意見交換等を行う会議は大切である。</p> <p>平成24年度の会議でも青少年健全育成団体が情報共有と意見交換を行うことができた。今後は、会議で話し合った結果を教育委員会の事業に、より有効に反映できるように、心の教育推進会議と青少年問題協議会を見直し、新組織への移行を検討している。</p>				

2 あいさつ運動の全市的な推進

事業名	あいさつ運動及びグッドマナーキャンペーンの実施		担当課	生涯学習課	
目的	石川県教育委員会が定める「すべての大人が子育てを」という心の教育石川の提言に基づき、街頭で子どもたちにあいさつや公共マナーを呼びかける運動を通し、一般市民のマナー向上を目指す。				
事業の概要	通学路など街頭で、児童生徒、一般の方々に対しあいさつ運動を実施。				
事業費(単位:千円)	H22	—	H23	—	H24
参加者数	4,612人		4,751人		4,747人
評価(成果)	<p>地域や関係機関の取り組みとして定着しており、年々参加人数も増加している。</p> <p>1週間継続して、あいさつすることで子どもたちのあいさつの声が大きくなった。</p> <p>地域の大人ともあいさつし合うことで、子ども・学校・保護者・地域の連携を深めることにつながった。今後とも、市職員、学校職員などの参加を求めるとともに、より参加者の増加につながるよう広く市民に周知する。</p> <p>子どもと大人があいさつし合うのが当たり前という環境を作るためにも、日常の取り組みとして別の形でも普及できないか、今後検討していく。</p>				

3 青少年育成センターの充実

事業名	青少年育成センターの充実		担当課	学校指導課	
目的	非行補導、教育相談、教育支援センターのぞみ教室(学校へ登校できない児童生徒のための学校復帰支援)の運営を行いながら、市内の青少年の健全育成を目指す。				
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・補導巡視 — 地区指導員・育成センター職員による巡視指導 ・教育相談 — 電話・面接等による教育相談、相談会の開催 ・学校復帰支援 — のぞみ教室の運営 ・広報啓発 — 機関誌の発行 				
事業費(単位:千円)		2,128		1,701	1,608
のぞみ教室通所人数	H22	1,011人	H23	892人	986人
来所相談件数		151件		206件	131件
電話相談件数		706件		608件	433件
評価(成果)	<p>年間の教育相談件数は減少したものの、教育支援センターのぞみ教室へ通所した児童生徒の延べ人数は、再度、増加傾向にあり、今後は、学校へ登校できない児童生徒のための学校復帰支援が急務となっている。</p> <p>その背景には家庭や学校、友人、地域社会など多種にわたる環境が複雑に絡み合い、学校だけでは解決が困難なケースが生じており、今後は、各種関係機関等と連携し、福祉的側面からの働きかけも強化しながら、学校や家庭に対して適切な支援と協力を行う。</p> <p>また、平成25年度に不登校やいじめ解消のため配置された「スクールソーシャルワーカー」とも協力しながら問題解決に取り組んでいく。</p>				

4 子ども会など青少年団体活動の推進と支援

事業名	子ども会活動への支援と青少年への情報提供		担当課	生涯学習課	
目的	子どもたちの健全育成を推進し、豊かな心を育み、健康でたくましい子を育てる。地区を越えた連携を図り、子どもたちの協力・共生・友情を育む。				
事業の概要	小学生を中心に行う子どもまつり、スポーツレクリエーション大会への活動補助及び運営補助を行う。				
事業費(単位:千円)		650		650	650
イベント参加者数	H22	2,490人	H23	2,825人	2,670人
評価(成果)	<p>子どもまつりは、毎年2,000人を超す子どもたちの参加があり、各コーナーの企画運営も子どもたち自らがやっている。</p> <p>平成24年度は、第20回目の節目を迎え、より子どもたちに身近なおまつりとなるように、イベントチラシのイラストの公募を行い、多くの子どもたちの応募が得られた。</p> <p>また、高校生ボランティアに参加してもらい、高校生と小学生との交流する機会をもつことができた。</p> <p>一部の地域で子どもたちや指導員が不足し、子ども会組織から脱退する地区も出てきており、更なる支援や組織の見直しが今後の大きな検討課題である。</p>				

5 社会環境浄化運動の推進

事業名	社会環境浄化運動の推進			担当課	生涯学習課
目的	インターネット、携帯電話、有害図書など、青少年を取り巻く問題を解決することで青少年の健全育成の推進を図る。				
事業の概要	青少年問題協議会を開催することで、青少年を取り巻く環境問題について現状を把握し、対策を検討する。				
事業費(単位:千円)	H22	—	H23	—	H24
会議開催数		—		—	
評価(成果)	平成24年度は、教育振興基本計画の策定に合わせて、青少年問題協議会と心の教育推進会議を発展的に解消して、より現場に近く、迅速で実働的な活動のできる組織の構築に向けて議論を積み重ねた。その結果、青少年問題協議会を廃止し、新たに青少年育成協議会を設置し、社会教育委員と連携した青少年健全育成や社会環境浄化運動推進事業について取り組みを図っていく。				

教育委員会会議の開催状況

開催数 16回

議案 36件

報告 33件

開催日	審議内容
平成24年第4回 定例会 (H24. 4. 25)	議案第12号 加賀市特別支援教育就学奨励費支給要綱について（継続審議） 議案第14号 加賀市教育及び文化振興事業補助金交付要綱の一部改正について 議案第15号 加賀市スポーツ推進委員の委嘱について 報告第4号 加賀市教育委員会における加賀市民意見募集に関する要綱の一部改正について 報告第5号 平成24年加賀市成人式開催結果について 報告第6号 第37回全国健勝マラソン加賀温泉郷大会の開催結果について
平成24年第5回 定例会 (H24. 5. 23)	議案第16号 加賀市社会教育委員の委嘱について 報告第7号 計画訪問について
平成24年第6回 定例会 (H24. 6. 20)	議案第17号 加賀市スポーツ推進審議会委員の委嘱について 議案第18号 加賀市文化振興審議会委員の委嘱について 議案第19号 加賀市文化財保護審議会委員の委嘱について 議案第20号 加賀市教育及び文化振興事業補助金交付要綱の一部改正について 議案第21号 加賀市スポーツ推進事業補助金交付要綱の制定について 報告第8号 平成24年度6月補正予算について 報告第9号 平成24年第3回加賀市議会定例会（6月）について 報告第10号 古九谷産地論争紹介DVD制作企画競争審査結果について
平成24年第7回 定例会 (H24. 7. 25)	議案第22号 加賀市立学校設置条例の一部を改正する条例について 議案第23号 平成24年度9月補正予算(案)について 議案第24号 加賀市加賀橋立伝統的建造物群保存地区防災計画策定調査委員会設置要綱の制定について 議案第25号 加賀市加賀橋立伝統的建造物群保存地区防災計画策定調査委員会委員の委嘱について 議案第26号 加賀市九谷磁器窯跡整備委員会委員の委嘱について 報告第11号 損害賠償請求事件の経過報告について 報告第12号 平成24年度石川県基礎学力調査の結果について

平成24年第8回 臨時会 (H24. 8. 6)	議案第27号 加賀市教育振興基本計画について
平成24年第9回 定例会 (H24. 8. 23)	議案第27号 加賀市教育振興基本計画について（継続審議） 報告第13号 平成24年度9月補正予算(市長裁定)について 報告第14号 加賀温泉郷マラソン新コースについて 報告第15号 新任加賀市A L Tについて 報告第16号 平成24年度全国学力・学習状況調査の結果について（非公開）
平成24年第10回 定例会 (H24. 9. 25)	議案第28号 平成23年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について 議案第29号 加賀市加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について（諮問） 議案第30号 加賀市加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について（諮問） 報告第17号 加賀市伝統的建造物群保存地区保存審議会の委員委嘱(一部変更)について 報告第18号 平成24年度加賀市小中学生の学習状況・生活習慣について 報告第19号 平成24年第5回加賀市議会定例会(9月)について 報告第20号 橋立小・中学校新校舎への移転について 報告第21号 市民夏期大学講座の開催結果について 報告第22号 芭蕉祭山中温泉全国俳句大会の開催結果について
平成24年第11回 定例会 (H24. 10. 30)	議案第31号 異議申し立てに対する情報公開審査会に対する諮問について 報告第23号 教育委員会委員の任命について 報告第24号 平成24年第6回加賀市議会定例会(12月)会期予定について 報告第25号 損害賠償請求事件(平成22年(ワ)第7号)について 報告第26号 加賀市教育委員会ホームページの開設について 報告第27号 加賀市P T A連合会要望書への回答について
平成24年第12回 臨時会(非公開) (H24. 11. 9)	議案第32号 損害賠償請求事件終局判決への対応について
平成24年第13回 臨時会(非公開) (H24. 11. 16)	議案第32号 損害賠償請求事件終局判決への対応について（継続審議）
平成24年第14回 臨時会(非公開) (H24. 11. 20)	議案第32号 損害賠償請求事件終局判決への対応について（継続審議）
平成24年第15回 定例会(非公開) (H24. 11. 22)	議案第33号 加賀市教育委員会委員長の選任について 議案第34号 加賀市教育委員会委員長職務代理の選任について

平成24年第16回 定例会 (H24. 12. 25)	議案第35号	加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について
	議案第36号	加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について
	報告第28号	平成24年第6回加賀市議会定例会(12月)について
	報告第29号	平成25年第1回加賀市議会定例会(3月)日程について
平成25年第1回 定例会 (H25. 1. 22)	議案第1号	加賀市青少年問題協議会条例の廃止について
	議案第2号	加賀市図書等自動販売機の適正な設置及び管理に関する条例の一部改正について
	議案第3号	加賀市社会体育夜間照明施設条例の一部改正について
	報告第1号	平成24年度加賀市立小中学校卒業式への出席について
平成25年第2回 定例会 (H25. 2. 19)	議案第4号	平成24年度3月補正予算について
	議案第5号	平成25年度当初予算について
	議案第6号	加賀市美術品等購入基金条例の廃止について
	議案第7号	行政情報の非公開決定に係る異議申し立てに対する決定について
	議案第8号	「紙本金地著色群鹿図屏風 佐々木泉景筆」の加賀市文化財の指定について
	報告第2号	加賀市立小中学校入学式への出席について
	報告第3号	加賀市こども読書活動推進計画(改訂版)について
	報告第4号	平成25年加賀市成人式の開催について
報告第5号	「古九谷再興物語 青手九谷 吉田屋の魅力展」の報告について	
平成25年第3回 定例会 (H25. 3. 22)	議案第9号	学校医の解職並びに委嘱について
	議案第10号	学校歯科医の解職並びに委嘱について
	議案第11号	公民館長の任命について
	報告第6号	平成25年第1回加賀市議会定例会(3月)について
	報告第7号	第1回加賀温泉郷マラソンの参加申込状況について

教育委員研修会等の開催状況

開催数 9回

開催日	研修内容等
平成24年5月11日	橋立小学校・橋立中学校 建設現場視察
平成24年7月9日	学校適正規模・適正配置 研修会
平成24年7月12日	学校適正規模・適正配置 先進地視察（三重県伊賀市）
平成24年5月21日	加賀市議会教育民生委員会 意見交換会
平成24年6月20日	加賀保護区保護司会役員 意見交換会
平成24年7月27日	加賀市PTA連合会役員 意見交換会
平成24年8月23日	あわら市教育委員会 意見交換会
平成24年10月31日	加賀保護区保護司会役員 意見交換会
平成24年12月3日	学校適正規模・適正配置 研修会

教育委員会の主な活動

平成24年4月1日	加賀市成人式（文化会館）
平成24年4月5日	市内小中学校入学式
平成24年4月14日	中谷宇吉郎没後50周年記念シンポジウム（アビオシティ・ホール）
平成24年4月15日	第37回全国健勝マラソン加賀温泉郷大会
平成24年4月16日	第1回石川縣市町教育長会議（金沢市）
平成24年4月19日～20日	第22回東海北陸都市教育長協議会定期総会・研究大会（愛知県）
平成24年4月24日	第1回石川縣市町教育委員会連合会理事会（金沢市）
平成24年4月27日	第5回加賀市教育振興基本計画審議会
平成24年5月10日～11月28日	学校訪問
平成24年5月11日	石川縣市町教育委員会連合会定期総会（金沢市）
平成24年5月13日	第1回就学指導委員会
平成24年5月13日	加賀市の歴史と文化を知るツアー
平成24年5月15日	第1回加南地区教育委員会連絡協議会教育長会議（小松市）
平成24年5月16日～18日	第63回全国都市教育長協議会総会・研究大会（出雲市）
平成24年5月22日	第1回石川県へき地教育振興会理事会（金沢市）
平成24年5月24日	加賀市特別支援学級設置校長・特別支援学校長連絡会
平成24年5月25日～6月1日	石川県北欧教育事情視察参加（教育長）
平成24年5月27日	加賀東谷重要伝統的建造物群保存地区選定記念式典
平成24年6月1日	大聖寺城跡等調査委員会
平成24年6月3日	大聖寺城跡現地説明会
平成24年6月4日	加賀市育英資金貸与選考委員会
平成24年6月10日	市民スポーツ祭・市民体育大会
平成24年6月14日	加賀市学校給食会
平成24年6月19日	第1回加賀市社会教育委員会議
平成24年6月20日	加賀市公民館長会議
平成24年6月21日	第1回保健担当者研修会
平成24年6月22日	加賀市要保護児童対策協議会第1回代表者会議
平成24年6月25日	橋立小中学校建設協議会（橋立地区会館）
平成24年6月28日	全国健勝マラソン加賀温泉郷大会実行委員会
平成24年7月2日	第2回石川縣市町教育長会議（金沢市）
平成24年7月3日	石川県社会教育委員連絡協議会役員会（金沢市）
平成24年7月4日	第1回石川県教員研修制度改革会議（教育長）
平成24年7月6日	第1回加賀市生徒指導連絡協議会（加賀聖城高校）
平成24年7月13日	加賀市学校事務職員研修会
平成24年7月13日	大聖寺十萬石史蹟再生協議会
平成24年7月18日	第1回加賀市中心の教育推進会議
平成24年7月18日	加賀市公民館長会議
平成24年7月21日	加賀市の歴史と文化を知るツアー
平成24年7月23日	第1回加賀市文化振興審議会
平成24年7月24日	第1回加賀市文化財保護審議会
平成24年7月25日	石川縣市町教育委員会連合会セミナー（金沢市）
平成24年7月25日	石川県社会教育委員協議会
平成24年7月27日	第64回石川県民体育大会壮行会

平成24年7月31日	第6回加賀市教育振興基本計画審議会
平成24年8月2日	教師力を高める研修会（市民会館）
平成24年8月6日	加賀市教育振興基本計画審議会答申受理
平成24年8月6日	加南地区学校事務職員研修会（市民会館）
平成24年8月8日	加賀橋立伝建地区防災計画策定調査委員会
平成24年8月10日	夏季教職員全体研修会（文化会館）
平成24年8月11日～8月12日	第63回石川県民体育大会夏季大会（志賀町）
平成24年8月20日・23日	市民夏期大学講座（市民会館）
平成24年8月22日	第2回石川県へき地教育振興会理事会（金沢市）
平成24年8月24日	通学路安全点検現地確認
平成24年8月27日	加賀市学校給食調理場安全衛生委員会
平成24年8月28日	通学路安全点検報告会
平成24年8月29日	第1回加賀市スポーツ推進審議会
平成24年8月30日	第1回加賀市学校安全衛生委員会
平成24年9月4日	九谷磁器窯跡整備委員会
平成24年9月6日～7日	東海北陸公民館大会（富山市）
平成24年9月7日	第2回石川縣市町教育委員会連合会理事会（金沢市）
平成24年9月8日～30日	市内小中学校運動会・体育祭参観
平成24年9月15日	加賀市の歴史と文化を知るツアー
平成24年9月16日	芭蕉祭山中温泉全国俳句大会
平成24年10月3日	平成23年度「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検評価」 議会報告
平成24年10月5日	加賀市伝統的建造物群保存地区保存審議会
平成24年10月5日	加賀市スポーツ推進委員会全体会議
平成24年10月6日	橋立小学校・橋立中学校内見会
平成24年10月6日	史跡九谷磁器窯跡発掘調査現地説明会
平成24年10月9日	通学路安全点検検討対策会議
平成24年10月11日～12日	全国公民館研究集会（滋賀県大津市）
平成24年10月12日	石川縣市町教育委員会連合会研究大会（宝達志水町）
平成24年10月15日	小松教育事務所管内教育長視察（富山市大沢野小中学校）
平成24年10月21日	行政評価「公開外部評価会」（山中温泉文化会館）
平成24年10月21日	市民山登り（寺尾山）
平成24年10月22日	第2回石川県教員研修制度改革会議（教育長）
平成24年10月26日	全国健勝マラソン加賀温泉郷大会実行委員会
平成24年10月30日	加南地区教育委員会連絡協議会研究大会（小松市）
平成24年10月31日～11月2日	伝統的建造物群保護行政研修会
平成24年11月1日	橋立小学校・橋立中学校入校式
平成24年11月4日	石川県心の教育推進大会（金沢市）
平成24年11月7日	石川県図書館大会（白山市）
平成24年11月11日	石川県九谷焼美術館開館10周年記念イベント 語り「雪 古九谷」
平成24年11月11日	歴史と文化を知るツアー
平成24年11月21日	損害賠償請求事件記者会見
平成24年11月22日	新・加賀市教育委員任命式
平成24年11月25日	第2回就学指導委員会
平成24年11月28日	九谷焼開窯360年記念事業検討準備会
平成24年11月28日	県民移動能（橋立小学校）

平成24年11月29日	石川縣市町教育長会研修会（金沢市）
平成24年12月4日	第2回加賀市社会教育委員会議
平成24年12月6日	大聖寺城跡等調査委員会
平成24年12月19日	第2回加南地区教育委員会連絡協議会教育長会議（小松市）
平成24年12月20日	第1回（仮称）加賀大聖寺人物館人物選考委員会
平成24年12月25日	特別支援教育講演会
平成25年1月15日	中谷宇吉郎科学奨励賞選考会
平成25年1月16日～28日	「古九谷再興物語 青手九谷吉田屋の魅力展」（阪急うめだ本店）
平成25年1月21日	第2回保健担当者研修会
平成25年1月22日	第2回（仮称）加賀大聖寺人物館人物選考委員会
平成25年1月23日	三森良二郎奨学金選考会
平成25年1月25日	第3回石川縣市町教育長会議（金沢市）
平成25年1月27日	加賀市レクリエーションスポーツ大会（スポーツセンター）
平成25年1月30日	特別支援教育総合推進事業運営協議会
平成25年2月5日	石川縣市町公民館長研修会（金沢市）
平成25年2月7日	石川縣市町新任教育委員研修会（金沢市）
平成25年2月8日	中谷宇吉郎科学奨励賞授賞式（中谷宇吉郎雪の科学館）
平成25年2月8日	石川県社会教育委員連絡協議会役員会（金沢市）
平成25年2月13日	第2回加賀市文化財保護審議会
平成25年2月15日	第3回加賀市社会教育委員会議
平成25年2月17日	第3回就学指導委員会
平成25年2月18日	第3回（仮称）加賀大聖寺人物館人物選考委員会
平成25年2月20日	加賀橋立伝統的建造物群保存地区防災計画策定調査委員会
平成25年2月22日	九谷焼開窯360周年記念事業検討準備会
平成25年2月25日	第1回加賀市文化振興審議会
平成25年2月27日	第2回加賀市スポーツ振興審議会
平成25年3月7日	加賀市立学校職員安全衛生協議会
平成25年3月9日	市内中学校卒業式
平成25年3月14日	前・文部科学省事務次官 清水潔氏 講演会（石川県九谷焼美術館）
平成25年3月18日	市内小学校卒業式
平成25年3月18日	九谷磁器窯跡整備委員会
平成25年3月18日	加賀市放課後子どもプラン運営委員会
平成25年3月22日	第3回加南地区教育委員会連絡協議会教育長会議（小松市）
平成25年3月26日	第3回石川県教員研修制度改革会議（教育長）
平成25年3月26日	九谷焼開窯360周年記念事業検討準備会